

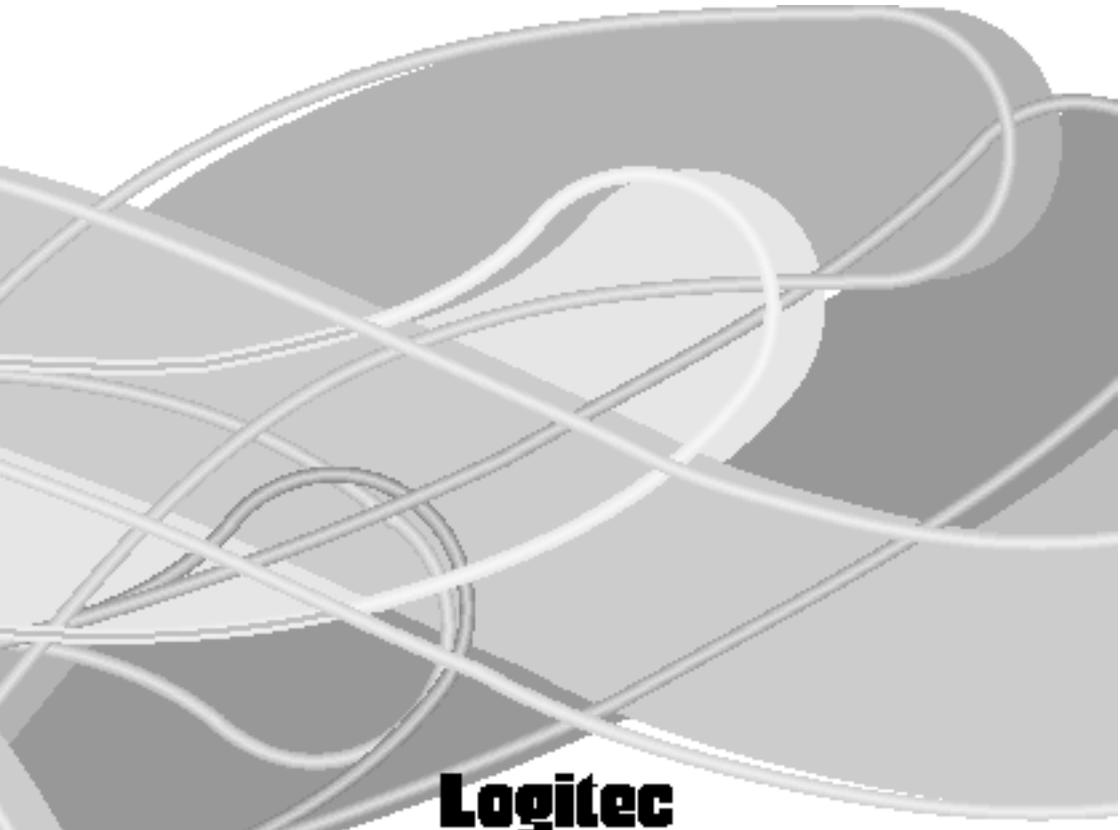
LMO-HFU2 V02

IEEE 1394 & USB 2.0 MO UNIT

MOユニット・ ユーザズマニュアル

LMO-H1360FU2

LMO-H660FU2



Logitech

目次

取扱い上のご注意	1
付属品の確認	5
ごあいさつ	6
ご注意	6
共通編	7
共通編: 1 製品の特徴	7
共通編: 2 各部の名称と機能	8
共通編: 3 設置方向について	10
共通編: 4 メディアに関して	11
共通編: 5 ハードウェア仕様	15
IEEE 1394 編	17
USB 編	53

本書の使い方

本製品はIEEE1394インターフェース、USBインターフェースのどちらにも接続することができます。そのため、本マニュアルはIEEE1394編とUSB編に分かれています。最初に共通編をお読みになった後は、IEEE1394、もしくはUSBのうち、使用するインターフェースに対応した方をお読みください。

取扱い上のご注意

本製品を正しく安全に使用するために

- ・本書では製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。必ずご使用前にこの注意事項を読み、記載事項にしたがって正しくご使用ください。
- ・本書は読み終わった後も、必ずいつでも見られる場所に保管しておいてください。

表示について

- ・この「取扱い上のご注意」では以下のような表示(マークなど)を使用して、注意事項を説明しています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。



警告

この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険性がある項目です。



注意

この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。



三角のマークは何かには注意しなければならないことを意味します。三角の中には注意する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは感電に注意しなければならないことを意味します。



丸に斜線のマークは何かを禁止することを意味します。丸の中には禁止する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは分解を禁止することを意味します。

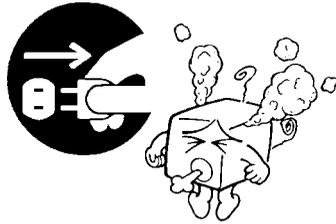


塗りつぶしの丸のマークは何かの行為を行わなければならないことを意味します。丸の中には行わなければならない行為が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは電源コードをコンセントから抜かななければならないことを意味します。

警告

万一、異常が発生したとき。

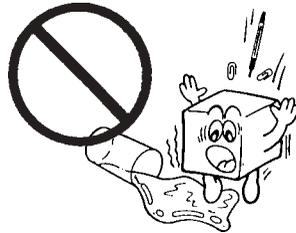
本体から異臭や煙が出た時は、ただちにACアダプタをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。



異物を入れないでください。

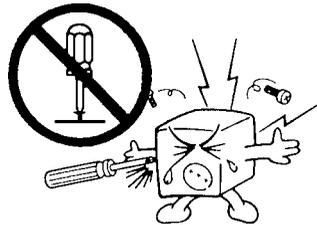
本体内部に金属類を差し込まないでください。また、水などの液体が入らないように注意してください。故障、感電、火災の原因となります。

万一異物が入った場合は、ただちに電源を切り販売店にご相談ください。



分解しないでください。

ケースは絶対に分解しないでください。感電の危険があります。分解の必要が生じた場合は販売店にご相談ください。



正しい電源で

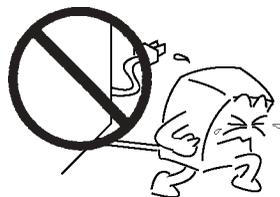
使用してください。

ACアダプタは必ず本製品付属のものを使用し、AC100Vのコンセントに接続してください。



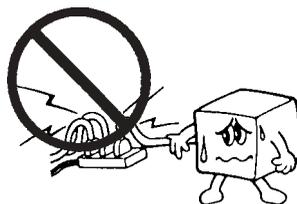
ACアダプタのコードを大切に。

ACアダプタのコードは破損しないように十分ご注意ください。コード部分を持って抜き差ししたり、コードの上にものを乗せると、被服が破れて感電/火災の原因となります。



⚠ 注意

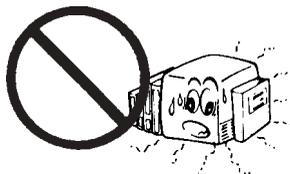
ACアダプタはなるべくコンセントに直接接続してください。タコ足配線や何本も延長したテーブルタップの使用は火災の原因となります。



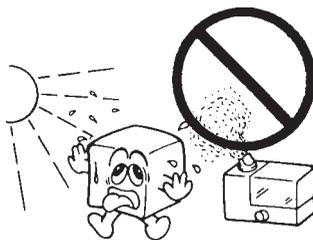
ACアダプタのコードは必ず伸ばした状態で使用してください。束ねた状態で使用すると、過熱による火災の原因となります。



通風孔はふさがらないでください。過熱による火災、故障の原因となります。



高温・多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。

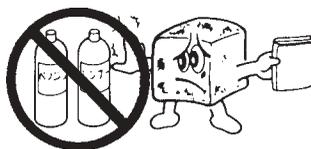


本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所での使用 / 保管は避けてください。



⚠ 注意

本体が汚れた場合は必ず電源を切ってから、柔らかい布に水または中性洗剤を含ませ軽くふいてください。（本体内に垂れ落ちるほど含ませないように気をつけてください。）揮発性の薬品（ベンジン・シンナーなど）を用いますと、変形・変色の原因になる事があります。



本製品を長期間使用しない場合は、ACアダプタをコンセントから抜いておいてください。



付属品の確認

MO ユニット	1 台
AC アダプタ	1 個
IEEE1394 ケーブル (6 ピン - 4 ピン)	1 本
USB ケーブル (USB2.0 High Speed 対応)	1 本
縦置き用スタンド	1 セット
横置き用ゴム足	1 シート
「Logitech Ware」CD-ROM	1 枚
イジェクトツール	1 個
MO ユニット・ユーザーズマニュアル	本書
保証書 / ユーザー登録カード	1 枚
登録カード (B'sCrew FW 用)	1 枚

本製品は精密電子機器です。輸送時には、必ず付属の梱包材をご使用ください。

* MS[®]、Windows[®]は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国での商標です。
Macintosh、Mac OSは米国アップルコンピュータ社の商標です。本書に記載されているパソコンの機種名等は各社の商標または登録商標です。

ごあいさつ

この度は弊社製品をお買い上げいただきまして、誠に有り難うございました。本書は製品に関する設定 / 接続方法、機能 / 仕様等についてのご説明をいたしますので、ご使用前に必ずご一読いただきますようお願いいたします。

弊社製品によって、お客様のパソコン環境がより便利なものとなりますよう心からお祈りいたします。

ご注意

本書の一部または全部を弊社に無断で転載することは禁止されております。

本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審の点がございましたら、弊社テクニカルサポートまでご連絡くださいますようお願いいたします。

本製品および本書を運用した結果による損失、利益の逸失の請求等につきましては、一 項に関わらず弊社ではいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本書に記載されている機種名、ソフトウェアのバージョンなどは、本書を作成した時点で確認されている情報です。本書作成後の最新情報については、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

本製品の仕様、デザイン及びマニュアルの内容については、製品改良などのために予告なく変更する場合があります。

本製品を使用して保存したデータが、ハードウェアの故障、誤動作、その他どのような理由によって破壊された場合でも、弊社での保証はいたしかねます。万一に備えて、重要なデータはあらかじめバックアップするようにお願いいたします。

弊社は、本製品の仕様がお客様の特定の目的に適合することを保証するものではありません。

本製品は、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係等）への組み込み等は考慮されていません。これらの設備や機器で本製品を使用したことにより人身事故や財産損害等が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

本製品は日本国内仕様ですので、本製品を日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。また、弊社では海外での（海外に対してを含む）サービスおよび技術サポートを行っておりません。

共通編

共通編 1：製品の特徴

本製品は IEEE1394 & USB 2.0/1.1 インターフェースに対応した外付け型 MO ユニットです。

本製品の特徴

高速ドライブを採用

ディスク回転数 6000rpm(*1)、マルチ・オブティマイズド・キャッシュ搭載の高速 MO ドライブを採用しています。

IEEE1394 & USB 2.0 /1.1 に対応

共に高速で簡単接続を実現する IEEE1394 と USB 2.0 の 2 種類のインターフェースを装備しています。480Mbps の高速データ転送が可能な USB 2.0 の High-Speed に対応し、従来の USB 1.1 対応の USB ポートに接続することも可能です。もちろん、ホットプラグに対応します。

放熱性に優れた堅牢なボディ

押し出し成形による筒型構造の採用により外装パネルを一体型で構成することが可能となり、ゆがみ、たわみや振動に強い堅牢なボディを実現。また、「内部に設置した板バネでドライブをアルミボディに密着させる独自構造により、放熱性能が向上し、安定したパフォーマンスを実現しています。

*1 1.3GB メディア使用時は 4041rpm



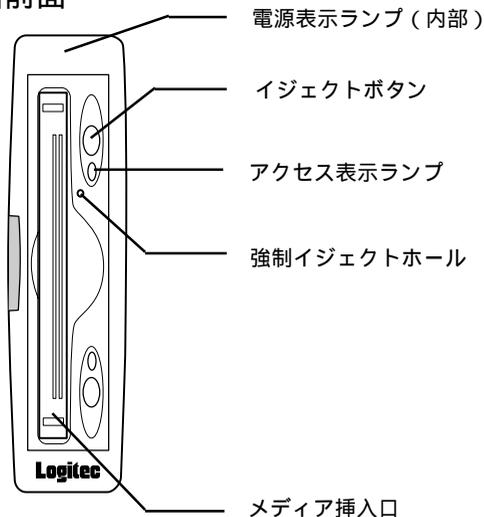
ご注意

- ・本製品を USB インターフェース、IEEE1394 インターフェースの両方同時に接続することはできません。
- ・本製品をどちらのインターフェースで使用する場合も、バスパワーで使用することはできません。必ず付属の AC アダプタを接続してください。
- ・スリープモード、サスペンドモードなどのような省電力モードには対応していません。

共通編 2 : 各部の名称と機能

1

本製品前面



電源表示ランプ

本製品の電源が ON になると内部のランプが点灯します。

イジェクトボタン

パソコン本体の OS が起動していないときに、MO メディアを取り出したい場合に使用します。

アクセス表示ランプ

本製品にセットされた MO にアクセスが行われると内部のランプが点灯します。

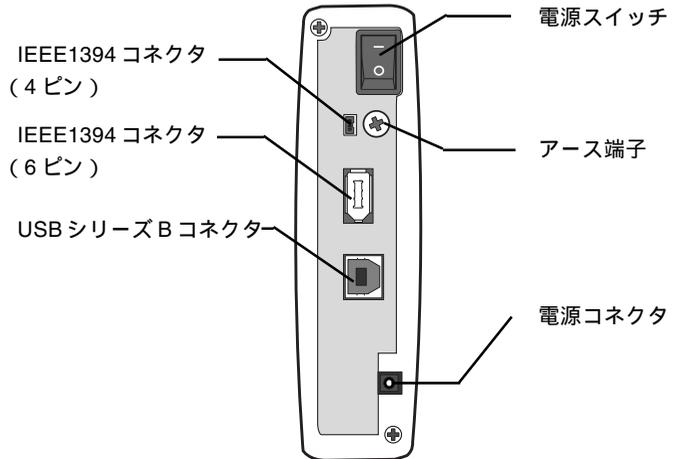
強制イジェクトホール

何かの原因でイジェクトボタンを押しても MO メディアが取り出せなくなったときに使用します。詳細については「共通編 4 : メディアに関して」をご参照ください。

メディア挿入口

MO メディアをセットする部分です。

本製品背面



電源スイッチ

本製品の電源を ON / OFF します。

IEEE1394 コネクタ (4 ピン)

IEEE1394 コネクタ (6 ピン)

本製品を IEEE1394 接続する場合に、パソコン本体の IEEE1394 ポートと接続します。接続はどちらのコネクタを使用してもかまいません。

アース端子

太くて短い導線などでパソコン本体のフレームグランド端子に接続すると、静電気などのノイズに強くなります。

USB シリーズ B コネクタ

本製品を USB 接続する場合に、パソコン本体の USB ポートと接続します。

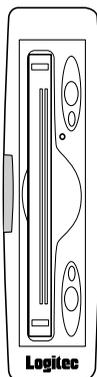
電源コネクタ

付属の AC アダプタのプラグを接続します。

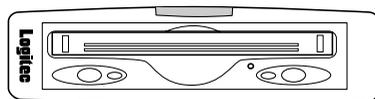
共通編 3 : 設置方向について

1

本製品は縦置き、横置きのどちらでも使用することができますが、それぞれ以下のような方向で設置してください。間違った方向で設置すると、トラブルの原因となる場合があります。

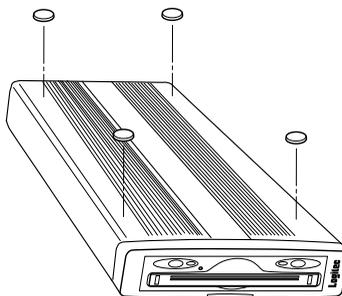
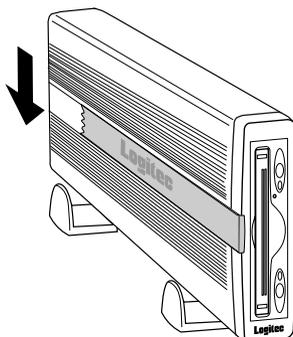


縦置きの場合



横置きの場合

縦置きの場合は、設置時、付属のスタンドをご使用ください。(下左図)
横置きの場合は、底面の4箇所に付属のゴム足を貼付してください。(下右図)



上図は底面を上にするため、設置方向と逆になっていますので、ご注意ください。

共通編 4 : メディアに関して

使用可能なメディアについて

本製品では、下表で の付いたMOメディアを使用することができます。

標準 = 標準タイプ OW = オーバーライトタイプ

		LMO- H1360FU2	LMO- H660FU2
128MB	標準		
	OW	-	-
230MB	標準		
	OW		
540MB	標準		
	OW		
640MB	標準		
	OW		
1.3GB	標準		×
	OW	-	-
2.3GB	標準	×	×
	OW	-	-

= 使用可能 × = 使用不可

= このタイプは現在発売されていません。



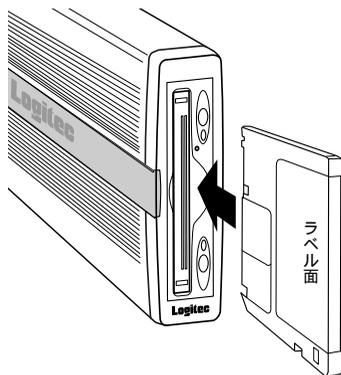
ご注意

他のMOユニットとのデータ交換には、128MBのMOメディアは使用しないで下さい。(この用途は補償範囲外とさせていただきます。)

これは128MBのMOユニットには、初期のドライブを使用した製品があり、レーザー光の強度が本製品と異なる可能性があるためです。データ交換には230MB以上のMOメディアをご使用ください。

メディアをセットするには

本製品に MO メディアをセットする場合は、右図の方向でメディア挿入口に挿入してください。



1



ご注意

本製品には MO メディア以外のメディアは挿入しないで下さい。フロッピーディスク等を無理に挿入すると機器を損傷します。

メディアを取り出すには

本製品にセットされた MO メディアを取り出す方法は使用する OS により異なります。そのため、IEEE 編、USB 編で各 OS に関する部分をご参照ください。



ご注意

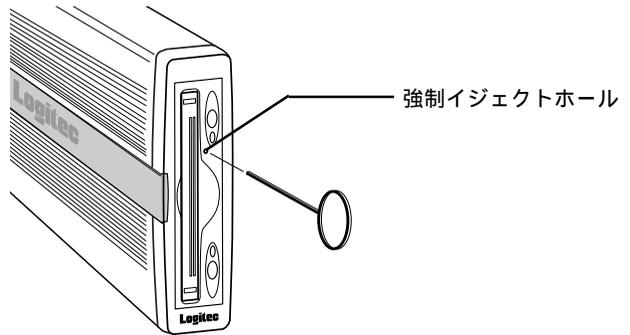
本製品前面のイジェクトボタンは OS が起動していないときに使用します。OS 稼働中は使用しないで下さい。

メディアが取り出せなくなった場合は

本製品にセットされたMOメディアが通常の手段で取り出せなくなった場合は、以下のことを試してください。

パソコン本体のシステムを終了して、本製品のみが電源ONになっている状態で、イジェクトボタンを押してください。

それでも取り出せない場合は、本製品の電源をOFFにして、付属のイジェクトツールを強制イジェクトホールに差込み、強く押してください。



メディアが1cmほど排出されますので、静かに引き出してください。



ご注意

本製品がONの状態では、強制イジェクトは行わないでください。

メディアのクリーニング

MOメディアは1～3ヶ月に1回程度、別売のメディアクリーニングキットを使用してクリーニングする必要があります。(使用環境/頻度によってクリーニングの時期は異なります。)クリーニングの方法については、クリーニングキットの取扱説明書をご参照ください。

本製品用のメディアクリーニングキットは、以下の型番で弊社より販売されております。

型番 : LMO-330-02

MOメディアのラベルについて

MOメディアにラベルを貼付する場合は、必ず指定の位置に1枚だけ貼ってください。また、貼った後ではがれないようにMOメディアの両面をしっかりと押さえてください。(最近のラベルには再剥離可能なように、のりが弱いものもあります。そのようなラベルはできるだけ使用しないでください。)

不適切な位置に貼ったり、2枚貼りするとMOユニット内部でラベルがはがれて、MOメディアがイジェクトできなくなる恐れがあります。



斜線の部分からはみ出さないように貼ります。

共通編：5 ハードウェア仕様

機種名	LMO- H1360FU2	LMO-H660FU2	
メディアタイプ	3.5型 MO メディア *1		
ディスクあたりの記憶容量	1.3GB / 640MB 540MB / 230MB 128MB	640MB / 540MB 230MB / 128MB	
平均シークタイム	31 ms		
ディスク回転数	6000 rpm *2		
インターフェース	IEEE 1394 - 1995 P1394a & USB 2.0 / 1.1		
最大同期転送速度 *3	IEEE 1394 : 400Mbps USB High - Speed : 480Mbps USB Full - Speed : 12Mbps		
キャッシュメモリ	2 MB		
環境条件 *4	動作時	温度	10 ~ 35
		相対湿度	20 % ~ 80 %
	保管時	温度	- 10 ~ 50
		相対湿度	10 % ~ 85 %
入力電圧	AC 100 V ± 10 % 50 / 60 Hz *5		
消費電力 (定格)	7 W *6		
外形寸法 幅 × 高さ × 奥行き	37 × 123 × 221 mm *7		
質量	1.2 kg *8		
設置方向	水平 / 垂直		

*1 対応メディアについては「共通編 4：メディアに関して」を参照

*2 LMO-H1360FU2 では、1.3GB メディア使用時は 4041rpm

*3 理論値

*4 ただし結露なきこと

*5 AC アダプタ

*6 AC アダプタ含む

*7 縦置き時，突起部 / スタンドを除く。

*8 本体のみ

Memo

IEEE 1394 編

目次

第 1 章	はじめに	19
1.1	IEEE1394 接続の概要	19
1.2	使用環境について	20
1.3	接続の前に	21
第 2 章	Windows Me , 98 Second Edition の場合	22
2.1	IEEE1394 ドライバのアップデート	22
2.2	接続について	23
2.3	フォーマットについて	26
2.4	メディアの取り出しについて	27
2.5	本製品を取り外す場合は	28
第 3 章	Windows XP,2000 の場合	30
3.1	接続について	30
3.2	フォーマットについて	34
3.3	メディアの取り出しについて	35
3.4	本製品を取り外す場合は	36
第 4 章	Macintosh の場合	38
4.1	接続とインストール	38
4.1.1	ドライバのインストール	38
4.1.2	本製品の接続	41
4.2	MO メディアのフォーマット	43
4.3	補足説明	46
第 5 章	補足事項	48
5.1	トラブルシューティング	48
5.2	IEEE1394 機器の増設について	51

第 1 章 はじめに

1 . 1 IEEE1394 接続の概要

本製品を IEEE1394 インターフェースに接続する場合、以下のような特徴があります。

IEEE1394 インターフェースは最大データ転送速度が 400Mbit/s (理論値) と高速です。

ホットプラグによる接続、取り外しが可能です。



ご注意

- ・本製品をバスパワーで使用することはできません。必ず付属の AC アダプタを接続してください。
- ・本製品に IEEE1394 ケーブル、USB ケーブルの両方を同時に接続することはできません。(IEEE1394 接続時には USB ケーブルを外しておいてください。)
- ・本製品はスリープモード、サスペンドモードなどのような省電力モードには対応していません。
- ・IEEE1394 はメーカーによって「FireWire」、もしくは「i.LINK」などと呼ばれることがありますが、すべて同じものをさします。本書の中では「IEEE1394」で呼称を統一します。

1 . 2 使用環境について

対応パソコンについて

本製品を IEEE1394 接続で使用する場合、以下のパソコン本体に接続可能です。すべて IEEE1394 ポートを標準搭載しているか、次ページに掲載された IEEE1394 インターフェイスボードを接続可能な機種に限定されません。

各社	DOS/V パソコン
日本電気株式会社	PC98-NX シリーズ
アップルコンピュータ社	
iMac	
eMac	
iBook	
Power Mac G4	
Power Macintosh G3 (Blue & White)	
PowerBook	

対応 OS について

本製品を IEEE1394 接続で使用する場合は、以下の OS をご使用ください。すべて日本語 OS に限定されます。また、パソコン本体が対応していない OS では使用することができません。

マイクロソフト株式会社	
Windows XP HomeEdition/Professional	
Windows Me	
Windows 98 Second Edition (*1)	
Windows 2000 Professional	

アップルコンピュータ社	
Mac OS 8.6 ~ Mac OS 9.2.2 (*2)	
Mac OS X 10.0.4 以降	

*1 IEEE1394 アップデータ 要導入(「2 . 1 IEEE1394 ドライバのアップデート」参照)

*2 Mac OS 9 以降で FireWire 2.3.3 以上を導入した環境を推奨



ご注意

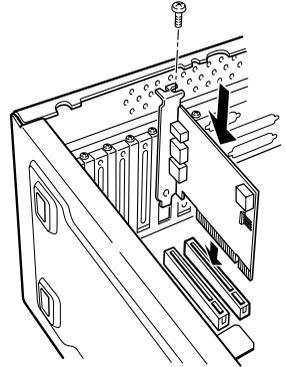
本製品を Windows 95 や Second Edition でない Windows 98 で使用することはできません。

1.3 接続の前に

IEEE1394 インターフェイスボードの接続

パソコン本体に IEEE1394 ポートがない場合は、別売の IEEE1394 インターフェイスボード（PCIバス用 IEEE1394 インターフェイスボード、もしくは CardBus 対応 IEEE1394 インターフェイスカード）が必要になります。

この場合、本製品の接続を行う前に IEEE1394 インターフェイスボードのマニュアルにしたがって、接続やドライバのインストール等を行っておいてください。（本書の第2章以下はすべてこれらの作業が終了していることを前提としています。）



IEEE1394 インターフェイスボードは、以下の型番で弊社から発売されているものを推奨します。

PCIバス用 IEEE1394 インターフェイスボード

型番	バス	備考
LHA - 1394V	PCI	インターフェイスボード単体
LVC - MG 2L		ビデオ活用キット

CardBus 対応 IEEE1394 インターフェイスカード

型番	バス	備考
LPM - CB 1394L	CardBus	インターフェイスカード単体
LVC - MG 2 / CB		ビデオ活用キット

DOS/V パソコン用

第2章

Windows® Me , 98 Second Edition の場合

本章では Windows Me および Windows 98 Second Edition で本製品の接続、MO メディアのフォーマットなどを行う手順を説明します。

ご使用の OS が Windows 98 の場合、Second Edition でないと本製品を使用することはできません。ご使用の Windows 98 が Second Edition かどうかを確認したい場合は、「コントロールパネル」 「システム」を起動してください。



上記の部分に「Windows 98 Second Edition」と記載されていれば、本製品を使用することができます。

2 . 1 IEEE1394 ドライバのアップデート

(Windows 98 Second Edition のみ)

Windows 98 Second Edition には IEEE1394 ドライバが標準添付されていますが、このドライバに対してはマイクロソフト株式会社からアップデートファイルが供給されています。このアップデートを行うことによって、IEEE1394 機器の安定性とパフォーマンスが向上します。

マイクロソフト株式会社のご厚意により、このアップデートファイルは付属の「LogitecWare」CD-ROM に収録されています。そのため、Windows 98 Second Edition をご使用の場合、以降の作業を行う前に、CD-ROM の以下のフォルダに保存された説明ファイル「README.HTML」をご熟読の上、実行ファイル「242975JPN8.EXE」を実行してください。

保存フォルダ : ¥DRIVERS¥MICROSOFT¥1394

説明ファイル : README.HTML (README)

実行ファイル : 242975JPN8.EXE (242975JPN8)

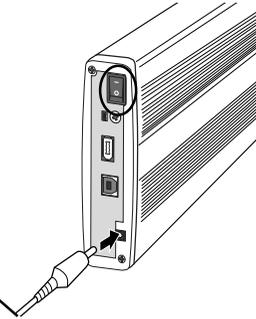
2 . 2 接続について

本製品の接続は以下の手順で行ってください。

パソコン本体の電源を ON にして、Windows のシステムを起動してください。

本製品背面の電源コネクタに付属の ACアダプタのプラグを接続します。ACアダプタは AC100V のコンセントに接続してください。ACアダプタの接続ができたなら、本製品の電源スイッチを ON にします。

AC100V の
コンセントへ



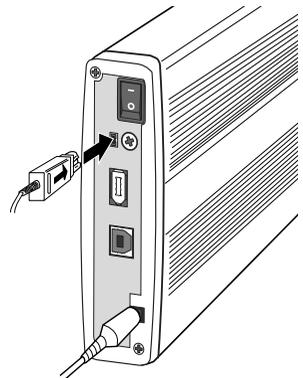
ご注意

接続の際には、必ず最初に AC アダプタの接続を行ってください。本製品に電源が供給されていない状態で接続を行うとトラブルが発生する場合があります。

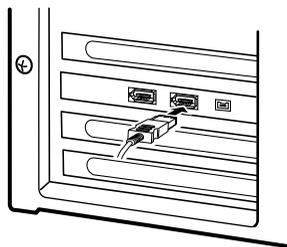
本製品に付属の IEEE1394 ケーブルを接続します。本製品には 6 ピン - 4 ピンの IEEE1394 ケーブルが添付されているため、パソコン本体の IEEE1394 ポートが 6 ピンの場合は本製品へは 4 ピンのコネクタを使用してください。

パソコン本体の IEEE1394 ポートが 4 ピンの場合は 6 ピンのコネクタを使用してください。

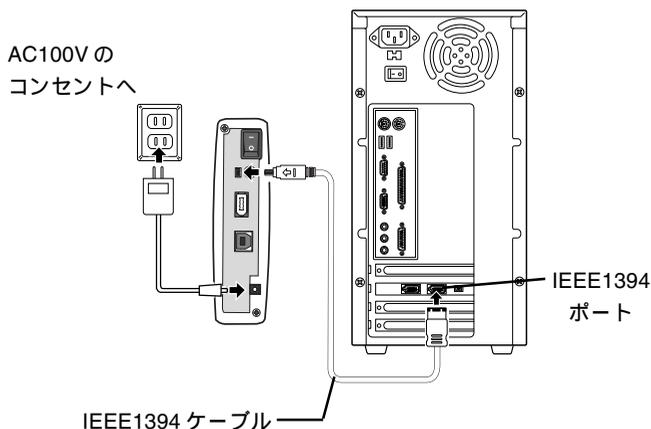
ここで使用しないコネクタは IEEE1394 機器の増設を行う時に使用しますが、今は開いたままで構いません。



IEEE1394 ケーブルのもう片方の
コネクタをパソコン本体の IEEE
1394 ポートに接続します。



下の接続図を参考にして、全体の接続が間違っていないことを確認してください。



接続が正常に終了すると、本製品がプラグ&プレイで認識され、ドライバが読み込まれます。(この部分はすべて自動で行われるため、ユーザーが行わなければならない作業はありません。)以上で接続は完了です。続いて接続結果の確認をします。

Point

ポイント

複数の IEEE1394 機器を接続したい場合は、第 5 章の「5.2 IEEE1394 機器の増設について」をご参照ください。

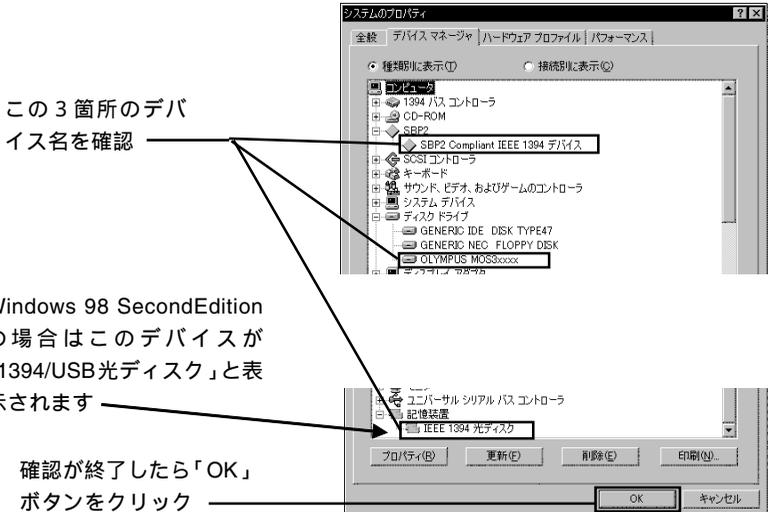
接続結果の確認

接続が完了したら、接続結果を確認します。「コントロールパネル」「システム」を起動して、「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。下のように接続されている機器の一覧が表示されたら、以下の3つのデバイスが表示されることを確認してください。

「SBP2」をダブルクリックして開き、「SBP2 Compliant IEEE 1394 デバイス」が表示されることを確認します。

「ディスクドライブ」をダブルクリックして開き、「OLYMPUS MOS3xxxx」が表示されることを確認します。

「記憶装置」をダブルクリックして開き、「IEEE1394 光ディスク」が表示されることを確認します。(Windows 98 SecondEditionの場合は「1394/USB 光ディスク」と表示されます。)



これらのデバイスが表示されたら、本製品の接続と認識は正常に行われています。次にMOメディアのフォーマットについて説明しますので、「OK」ボタンをクリックして、ウィンドウを閉じてください。



参考

ディスクドライブ名の「OLYMPUS MOS3xxxx」の中のxxxxには、本製品内蔵のMOドライブの型番が入ります。

2.3 フォーマットについて

Windows Me, 98 Second Edition の場合、MOメディアのフォーマットは付属のユーティリティ「ディスクフォーマッタ」で行います。

本製品付属の「LogitecWare」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットすると自動起動する「セットアップランチャー」から、「ディスクユーティリティ」をインストールしてください。(下図参照)

1. 「ディスクユーティリティ」のアイコンを1回クリックして、選択状態にします。



2. 「セットアップの起動」をクリックします。

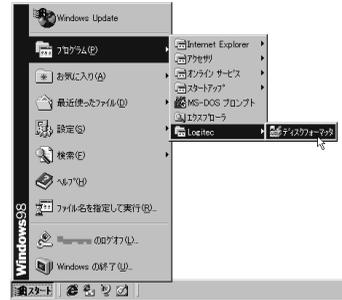
Point

ポイント

ディスクユーティリティには「ディスクフォーマッタ」以外にも、「ディスクジェクトツール」と「MO補助ドライバ」が含まれています。これらのユーティリティは本製品を使用する上で必要ですので、必ずインストールしてください。



インストールが終了したら、ディスクフォーマッタはタスクバー上の「スタート」ボタンをクリックして、「プログラム」「Logitech」とポイントし、「ディスクフォーマッタ」をクリックすることで起動できます。



2

また、インストール時、デスクトップ上にショートカットアイコンを作成した場合は、デスクトップ上の右のアイコンをダブルクリックしても起動することができます。



ディスクフォーマッタが起動したら、MOメディアのフォーマットを行います。フォーマットの手順については、ディスクフォーマッタのヘルプメニューから「トピックの検索」を選択し、表示されるヘルプウィンドウで「操作方法」「MOメディアのフォーマット」をご参照ください。

2.4 メディアの取り出しについて

Windows Me, 98 Second Edition 上でMOメディアを取り出したい場合は、ディスクユーティリティインストール時にインストールされたイジェクトツールを使用します。タスクバーの右側のアイコンをクリックして、表示されるメニューから本製品のドライブ名を選択してください。



このアイコンをクリックします。

この操作を行うと、MOメディアが1cmほど排出されますので、静かに引き出してください。



ご注意

本製品前面のイジェクトボタンはWindowsのシステムが起動していないときに使用します。Windows 稼働中は使用しないでください。

2 . 5 本製品を取り外す場合は

本製品はインターフェースとしてIEEE1394を採用しているため、ホットプラグオフ(パソコン本体の電源がONの状態での取り外し)が可能です。しかし、これは「いつでも取り外して良い」という意味ではありません。本製品を取り外す場合は、必ず以下の手順に従ってください。

本製品にMOメディアがセットされている場合は、これを取り出してください。

本製品を接続した状態では、タスクバーのシステムトレイに以下のようなアイコンが表示されます。このアイコンをクリックして、表示されるメニューから、「IEEE 1394 光ディスク - ドライブ(E:)の停止」、または「1394/USB 光ディスク - ドライブ(E:)の停止」を選択してください。

Windows Me の場合



Windows 98 Second Edition の場合



Point

ポイント

ここで「E:」は本製品のドライブ名ですので、環境によって異なります。

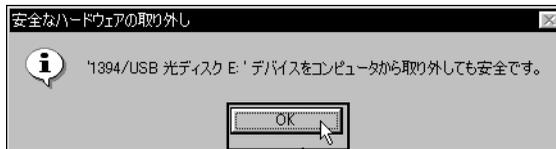
「IEEE 1394 光ディスク は安全に取り外すことができます。」 または
「1394/USB 光ディスク E: デバイスをコンピュータから取り外しても安全です」と表示されたら、OK ボタンをクリックしてください。

Windows Me の場合



OK ボタンをクリック

Windows 98 Second Edition の場合



OK ボタンをクリック

IEEE1394 ケーブルを外し、本製品の電源を OFF にしてください。



ご注意

本製品以外に IEEE1394 機器を併用している場合は、他の IEEE1394 機器のアクセス中に本製品の取り外しを行わないでください。

第3章 Windows® XP , 2000 の場合

3.1 接続について

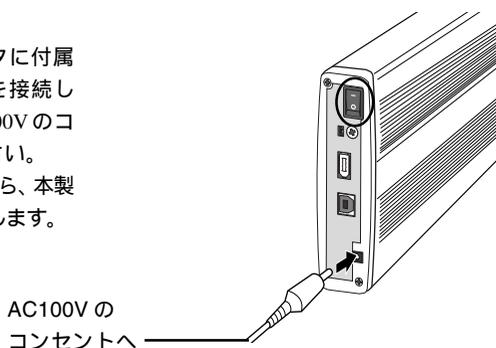
WindowsXP , 2000 の場合、本製品を使用するためのソフトウェアはすべて標準添付されています。そのため、本製品を接続するとすぐに本製品を使用可能な状態になります。

Point

パソコン本体の電源を ON にして、Windows のシステムを起動し、管理者権限を持つユーザー（例えばコンピュータの管理者や Administrators グループ）としてログオンしてください。

3

本製品背面の電源コネクタに付属の AC アダプタのプラグを接続します。AC アダプタは AC100V のコンセントに接続してください。AC アダプタの接続ができれば、本製品の電源スイッチを ON にします。



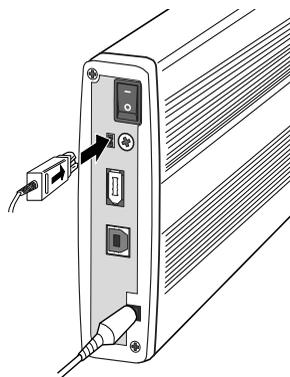
ご注意

接続の際には、必ず最初に電源を ON にしてください。本製品に電源が供給されていない状態で接続を行うとトラブルが発生する場合があります。

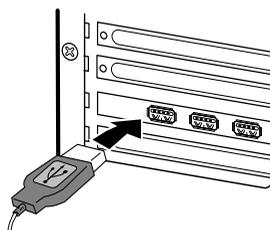
本製品に付属の IEEE1394 ケーブルを接続します。本製品には 6 ピン - 4 ピンの IEEE1394 ケーブルが添付されているため、パソコン本体の IEEE1394 ポートが 6 ピンの場合は本製品へは 4 ピンのコネクタを使用してください。

パソコン本体の IEEE1394 ポートが 4 ピンの場合は 6 ピンのコネクタを使用してください。

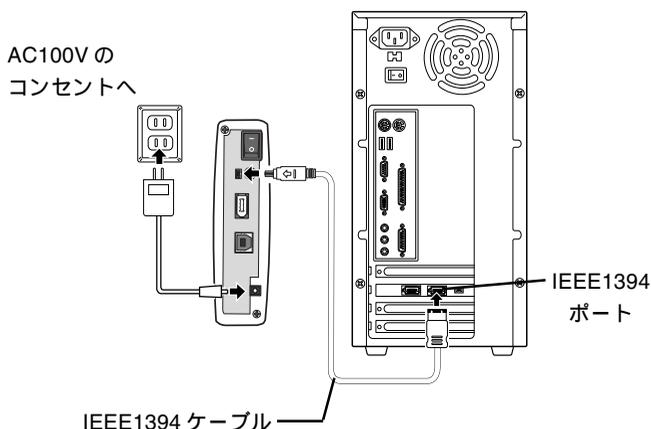
ここで使用しないコネクタは IEEE1394 機器の増設を行う時に使用しますが、今は開いたままで構いません。



IEEE1394 ケーブルのもう片方のコネクタをパソコン本体の IEEE 1394 ポートに接続します。



下の接続図を参考にして、全体の接続が間違っていないことを確認してください。



接続が正常に終了すると、本製品がプラグ&プレイで認識され、ドライバが読み込まれます。(この部分はすべて自動で行われるため、ユーザーが行わなければならない作業はありません。)以上で接続は完了です。続いて接続結果の確認をします。

Point ポイント

複数のIEEE1394機器を接続したい場合は、第5章の「5.2 IEEE1394機器の増設について」をご参照ください。

接続結果の確認

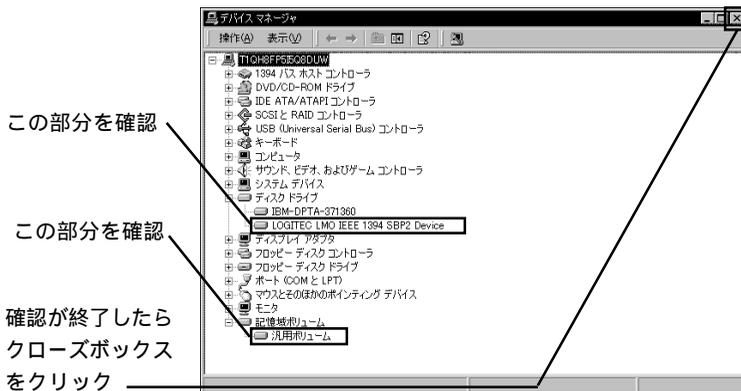
接続が終了したら以下の手順で結果の確認を行います。

Windows 2000 の場合

「コントロールパネル」「システム」を起動して、「ハードウェア」タブをクリックし、表示される「デバイスマネージャ」ボタンをクリックしてください。下のよう
3
に接続されている機器の一覧が表示されたら、以下のデバイスが表示されることを確認してください。

「ディスクドライブ」をダブルクリックして開き、「LOGITEC LMO IEEE 1394 SBP2 Device」が表示されることを確認します。

「記憶域ボリューム」をダブルクリックして開き、「汎用ボリューム」が表示されることを確認します。



これらのデバイスが表示されたら、本製品の接続と認識は正常に行われています。次に MO メディアのフォーマットについて説明しますので、クローズボックスをクリックして、ウィンドウを閉じてください。

Windows XP の場合

「コントロールパネル」から「プリンタとその他のハードウェア」をクリックし、「関連項目」から「システム」を選び、システムウィンドウから「ハードウェア」タブをクリックし、表示される「デバイスマネージャ」ボタンをクリックしてください。下のように接続されている機器の一覧が表示されたら、以下のデバイスが表示されることを確認してください。

「SBP2 IEEE 1394 デバイス」をダブルクリックして開き「SBP2 準拠 IEEE 1394 デバイス」が表示されることを確認します。

「ディスクドライブ」をダブルクリックして開き、「LOGITEC LMO IEEE 1394 SBP2 Device」が表示されることを確認します。

「記憶域ボリューム」をダブルクリックして開き、「汎用ボリューム」が表示されることを確認します。



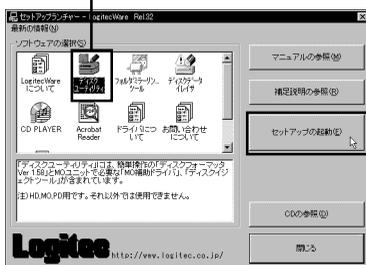
これらのデバイスが表示されたら、本製品の接続と認識は正常に行われています。次にMOメディアのフォーマットについて説明しますので、クローズボックスをクリックして、ウィンドウを閉じてください。

3.2 フォーマットについて

Windows XP, 2000 の場合、MO メディアのフォーマットは付属のユーティリティ「MO メディアフォーマッタ」で行います。

本製品付属の「LogitecWare」CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットすると自動起動する「セットアップランチャー」から、「ディスクユーティリティ」をインストールしてください。(下図参照)

1. 「ディスクユーティリティ」のアイコンを
1 回クリックして、選択状態にします。



2. 「セットアップの起動」をクリック
します。

インストールが終了したら、ディスクフォーマッタはタスクバー上の「スタート」ボタンをクリックして、「プログラム」「Logitec」とポイントし、「MO メディアフォーマッタ」をクリックすると起動できます。



3.3 メディアの取り出しについて

WindowsXP, 2000上でMOメディアを取り出したい場合は、「マイコンピュータ」に登録された本製品のアイコン(リムーバブルディスク)を右クリックして、表示されるメニューから「取り出し」を選択してください。

この操作を行うと、MOメディアが1cmほど排出されますので、静かに引き出してください。



ご注意

- ・本製品前面のイジェクトボタンはWindows が起動していないときに使用します。Windows 稼動中は使用しないでください。
- ・Windows XP, 2000 でMOメディアを取り出すには、管理者権限を持つユーザー（例えばコンピュータの管理者や Administrators グループ）としてログオンする必要があります。

3.4 本製品を取り外す場合は

本製品はインターフェースとしてIEEE1394を採用しているため、ホットプラグオフ(パソコン本体の電源がONの状態での取り外し)が可能です。しかし、これは「いつでも取り外して良い」という意味ではありません。本製品を取り外す場合は、必ず以下の手順に従ってください。

本製品にMOメディアがセットされている場合は、これを取り出してください。

本製品を接続した状態では、タスクバーのシステムトレイに以下のようなアイコンが表示されます。このアイコンをクリックして、表示されるメニューから、「LOGITEC LMO IEEE 1394 SBP2 Device - ドライブ (E:)を安全に取り外します」または、「LOGITEC LMO IEEE 1394 SBP2 Device - ドライブ (E:)を停止します」を選択してください。

Windows XP の場合

この項目をクリック



このアイコンをクリック

Windows 2000 の場合

この項目をクリック



このアイコンをクリック

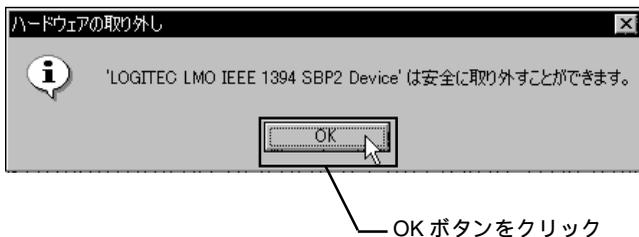
Point

ポイント

ここで「E:」はドライブ名ですので、環境によって異なります。

Windows XP では、「'LOGITEC LMO IEEE 1394 SBP2 Device' は安全に取り外すことができます。」というメッセージがでましたら取り外し可能となります。

Windows 2000 では、「'LOGITEC LMO IEEE 1394 SBP2 Device' は安全に取り外すことができます。」と表示されたら、OK ボタンをクリックしてください。



IEEE1394 ケーブルを外し、本製品の電源を OFF にして AC アダプタを外してください。



ご注意

本製品以外に IEEE1394 機器を併用している場合は、他の IEEE1394 機器のアクセス中に本製品の取り外しを行わないでください。

第4章

Macintosh®の場合

4.1 接続とインストール

本節では本製品のドライバをインストールして、本製品を接続するまでの手順を説明します。

Point

ポイント

Mac OS X 10.0.4 以降をご使用の場合、本製品を使用するためのドライバが標準で添付されているので、ドライバのインストール作業は必要ありません。「4.1.2 項 本製品の接続」へお進みください。

4.1.1 ドライバのインストール

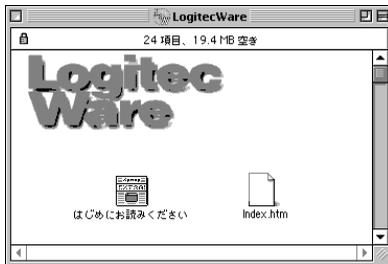
(Mac OS 9.2.2 以前)

本製品を接続していない状態で、Macintosh のシステムを起動してください。

「LogitecWare」CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットしてください。

CD-ROM のウィンドウが開きますので、「Index.htm」と書かれたアイコンをダブルクリックして開いてください。

右のようなウィンドウがブラウザで表示されます。



ブラウザ左のメニューから「ソフトウェア」と書かれた項目をクリックしてください。



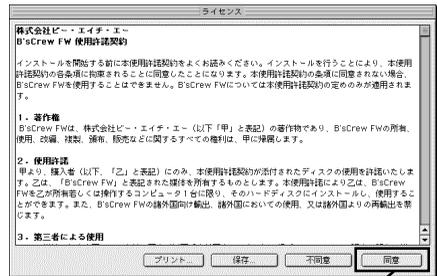
この項目をクリック

ソフトウェアの一覧が表示されたら、「B'sCrew FW」を探し、「B'sCrew FW Installer」と書かれた部分をクリックしてください。



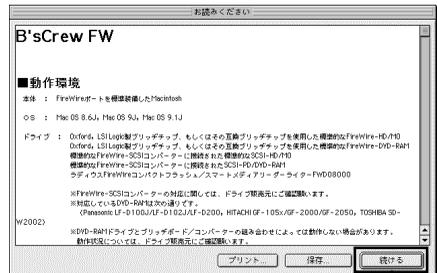
この部分をクリック

インストーラが起動して、使用許諾等が表示されます。



内容を確認して、同意する場合は「同意」をクリック

注意事項等が表示されます。



内容を確認して「続ける」をクリック

4.1 接続とインストール

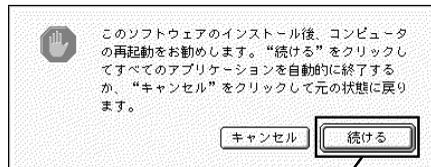
右のウィンドウが表示されます。

「インストール」をクリック



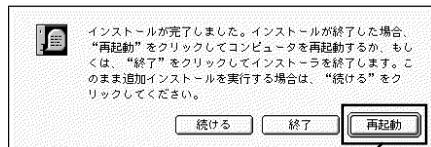
インストールの最後にシステムが再起動されるため、確認メッセージが表示されます。

他のプログラムなどが起動していないことを確認したら、「続ける」をクリック



必要なファイルが転送されます。終了すると右のウィンドウが表示されます。

「再起動」をクリック

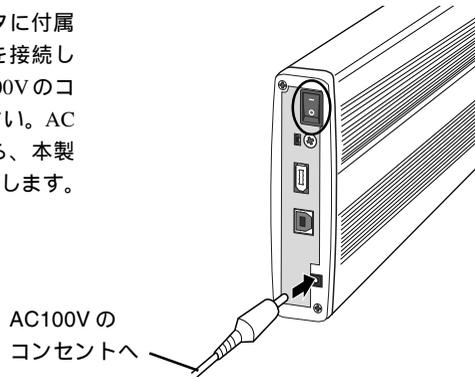


システムが再起動されます。以上でドライバのインストールは終了です。再起動が完了したら、CD-ROMを取り出しておいてください。再起動後本製品の接続を行います。

4.1.2 本製品の接続

パソコン本体の電源を ON にしてシステムを起動させてください。

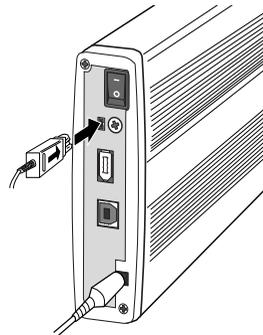
本製品背面の電源コネクタに付属の AC アダプタのプラグを接続します。AC アダプタは AC100V のコンセントに接続してください。AC アダプタの接続ができれば、本製品の電源スイッチを ON にします。



ご注意

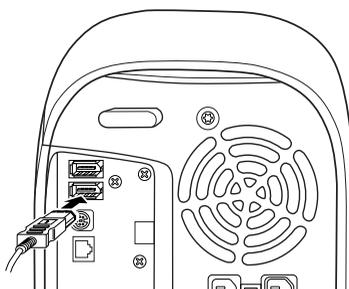
接続の際には、必ず最初に電源を ON にしてください。本製品に電源が供給されていない状態で接続を行うとトラブルが発生する場合があります。

次に本製品に付属の IEEE1394 ケーブルを接続します。本製品に IEEE1394 コネクタは 2 個ありますが、どちらを使用してもかまいません。ここで使用しないコネクタは、IEEE1394 機器の増設を行うときに使用しますが、今は開いたままかまいません。



4.1 接続とインストール

最後に IEEE1394 ケーブルのもう片方のコネクタをパソコン本体の IEEE1394 ポートに接続します。



以上で接続とインストールは終了です。これで本製品を使用できる状態になりました。本製品にフォーマットされた MO メディアをセットすると、デスクトップ上にアイコンが表示されます。このアイコンをダブルクリックするとメディアにアクセスすることができます。

(MO メディアのフォーマットについては、次節をご参照ください。)

4



参考

Mac OS X では本製品を接続すると自動的に認識され使用できる状態になります。

4.2 MOメディアのフォーマット

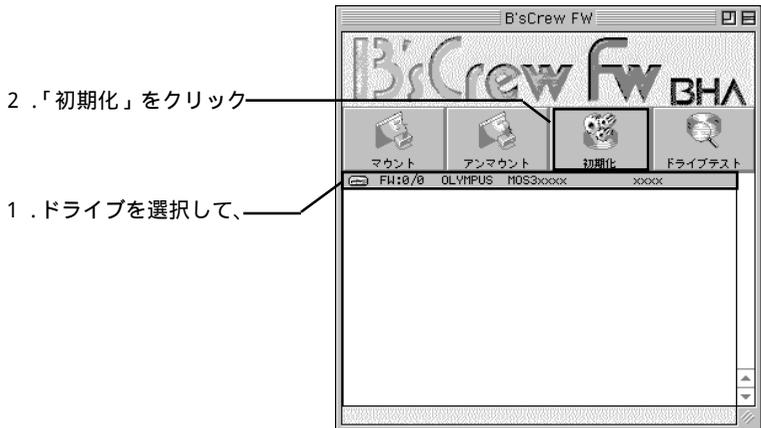
(Mac OS 9.2.2 以前)



ご注意

Mac OS X 10.0.4 以降のOSでは、ここで説明するフォーマットソフト B'sCrew FW は動作しません。OS 標準の Disk Utility をご使用ください。

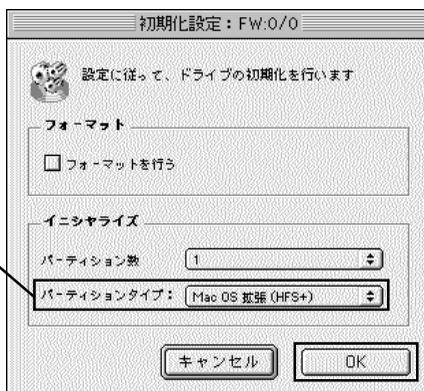
本製品を接続した状態で、ドライバのインストール時に作成された「B'sCrew FW」フォルダを開き、「B'sCrew FW」のアイコンをダブルクリックすると以下のウィンドウが表示されますので、ドライブを選択して「初期化」をクリックしてください。



4.2 MOメディアのフォーマット

「初期化設定」ウィンドウが表示されます。「パーティションタイプ」のプルダウンメニューを開きフォーマット形式を指定してください。(下のポイント参照)

このプルダウンメニューを開き、フォーマット形式を選択します。



Point

「フォーマット」形式には、「Mac OS 標準」と「Mac OS 拡張」があります。データ交換などを目的とする場合は「Mac OS 標準」を、それ以外の場合は「Mac OS 拡張」をお勧めします。

Mac OS 標準

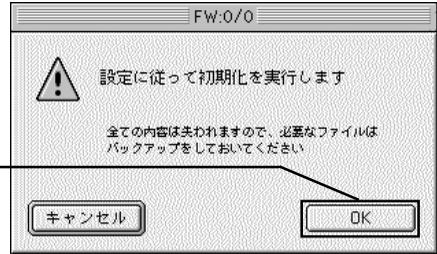
従来のMacintoshシリーズでサポートされていた形式です。汎用性がありますが、1.3GBなどの大容量のMOメディアで選択すると、保管効率が悪くなります。

Mac OS 拡張

Mac OS 8.1からサポートされた形式です。大容量のMOメディアを効率よく使用することができます。ただし、この形式でフォーマットすると、Mac OS 8.0以前のシステムではアクセスできなくなります。

確認のメッセージが表示されます。

フォーマットをしてもいいことを確認したら、「OK」ボタンをクリックしてください。



フォーマットが実行され、終了後のメッセージが表示されます。

「OK」をクリック



以上でMOメディアのフォーマットは終了です。終了すると新しいMOメディアがデスクトップ上にマウントされます。

4 . 3 補足説明

メディアの取り出しについて

Mac OS 上で MO メディアを取り出したい場合は、デスクトップ上にマウントされた MO メディアのアイコンをゴミ箱のアイコンに重ねてください。

この操作を行うと、MO メディアが 1cm ほど排出されますので、静かに引き出してください。



ご注意

本製品前面のイジェクトボタンは Mac OS が起動していないときに使用します。Mac OS 稼動中は使用しないでください。

本製品を取り外す場合は

本製品はインターフェースとして IEEE1394 を採用しているため、ホットプラグオフ (パソコン本体の電源が ON の状態での取り外し) が可能です。しかし、これは「いつでも取り外して良い」という意味ではありません。取り外し時には以下のような点にご注意ください。

本製品に MO メディアがセットされているときは、取り外しは行わないでください。本製品を取り外す前に MO メディアを取り出してください。

パソコン本体がスリープ状態になっているときは、取り外しを行わないでください。



ご注意

複数の IEEE1394 機器を併用している場合、他の IEEE1394 機器をアクセスしている間は本製品の取り外しを行わないでください。

iBook (Dual USB) 特有の問題

以下の環境において、IEEE1394 接続時に 6 ピン - 4 ピンの IEEE1394 ケーブルを使用すると認識されない症状が確認されています。(USB 接続や他のパソコン環境においては問題ありません。)

パソコン :

iBook (Dual USB) シリーズ

M8520J/A, M7699J/A, M7692J/A, M7698J/A

上記のパソコンに IEEE1394 接続する場合は、6 ピン - 6 ピンの IEEE1394 ケーブルをご使用ください。6 ピン - 6 ピンの IEEE1394 ケーブルが入手できない場合は、弊社テクニカルサポートへご連絡ください。

弊社テクニカルサポートの連絡先は本マニュアル最後のページに記載されていますのでそちらをご参照ください。

第5章 補足事項

5.1 トラブルシューティング

本製品を接続したが認識されない。

電源スイッチの状態、電源コードの接続、電源コードを接続したコンセントの状態を確認してください。

ケーブルの接続に接触不良などはありませんか。

IEEE1394 インターフェイスボードのドライバは正しくインストールされていますか？

本製品を IEEE1394 ハブ経由で接続している場合は、パソコン (IEEE1394 インターフェイスボード) の IEEE1394 ポートに直接接続して試してみてください。

多くの IEEE1394 機器を接続している場合、ケーブル長の制限、台数の制限を超えていないかどうか確認してください。また、接続にループが発生していないかどうかを確認してください。これらの制限等については「5.2 IEEE1394 機器の増設について」をご参照ください。

Windows XP ,2000 で「ディスクの管理」が起動できない。

「ディスクの管理」を起動するには、管理者権限を持つユーザー(例えば「コンピュータの管理者」や「Administrators」グループ)のメンバーとしてログオンしていなければなりません。

MOメディアのアクセス時にエラーが発生する。

MOメディアは汚れていませんか？ ディスク・クリーニングを行ってください。

MOメディアの不良も考えられます。別のディスクで試してください。これで問題がなければ、エラーが発生するMOメディアのデータをバックアップして、再フォーマットを行ってください。

MOメディアに書き込みができない。

MOメディアのライトプロテクト・ノッチがプロテクト側に設定されていませんか？

MOメディアがイジェクトできない。

アクセス表示ランプが点灯していないか確認してください。アクセス中はイジェクトできませんので、アクセスが終了するまでお待ちください。

ソフトウェアの中には、MOメディアのイジェクトを禁止するものがあります。現在使用中のソフトウェアを終了して試してください。

上記の項目に当てはまらない場合、は「共通編 4 メディアに関して」内の、メディアが取り出せなくなった場合はを参照して強制イジェクトを行ってください。

特定のMOメディアをアクセスできない。

そのMOメディアはフォーマットされていますか？ 一般にMOメディアは物理フォーマット済みで発売されていますが、物理フォーマットのみではアクセスはできません。本書記載の方法でフォーマット（論理フォーマット）を行ってください。

MOメディアではスーパーフロッピーフォーマットの形式が一般的ですが、ハードディスク形式やアップルコンピュータ社のMacintoshシリーズ用にフォーマットされたディスクもあります。異なるシステムとデータ交換を行う場合には、スーパーフロッピーフォーマットのMOメディアを使用してください。（MacintoshシリーズでスーパーフロッピーフォーマットのMOメディアを使用するには、MacOS標準のユーティリティ「PC Exchange」が必要です。）そのMOメディアが本製品で使用できる容量のものかどうかを確認してください。使用可能なMOメディアについては、「1.1 製品の特徴」の「機種と使用可能なMOメディア」をご参照ください。

Macintosh 環境で

本製品のドライバをアンインストールしたい。

システムフォルダの機能拡張フォルダにコピーされた以下のファイルを削除してください。

B'sCrew FW Driver

サスペンドモードから復帰できない。

本製品はサスペンドモードなどの省電力モードをサポートしていません。サスペンド機能はOFFにしてご使用ください。

その他：弊社ホームページについて

弊社ではインターネット上にホームページを開設しています。ホームページにはソフトウェアのダウンロードコーナーや、各種製品に関するQ&Aコーナーがあります。また、「サポート情報」では「お問い合わせ用紙」や「修理依頼書」などが、PDF形式でダウンロード可能になっていますのでご活用ください。

ホームページアドレス：<http://www.logitech.co.jp/>

本製品のMacintosh用ドライバに

関するお問い合わせについて

本製品付属のMacintosh用ドライバ「B'sCrew FW Driver」に関するお問い合わせは、開発元である株式会社ビー・エイチ・エーで承っています。

お問い合わせ先は以下の通りです。お問い合わせの際には必ずB'sCrew FW Driverのシリアルナンバーをご用意ください。

「株式会社ビー・エイチ・エー サポートセンター」

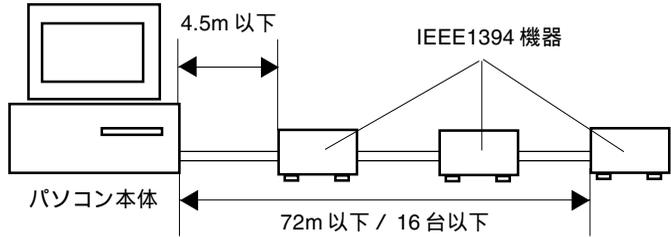
TEL：06-6378-3334 FAX：06-6378-3336

(月～金曜日 10:00～12:00 / 13:00～17:00

祝祭日および夏期 / 年末年始特定休業日を除く)

5.2 IEEE1394 機器の増設について

本製品のように IEEE1394 コネクタを 2 個装備している IEEE1394 機器は数珠つなぎ（デージーチェーン型）に増設することができます。



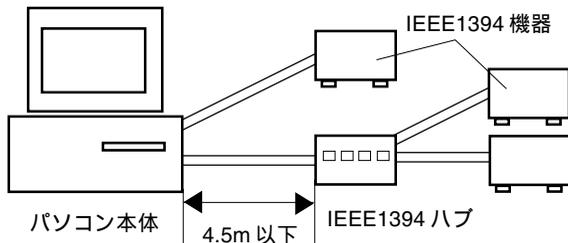
このような接続を行う場合、一本のケーブルの長さは最大 4.5m まで、ケーブル長の合計は最大 72m までに制限されます。また、IEEE1394 機器の台数は 16 台以下（パソコン本体を含まない）に制限されます。



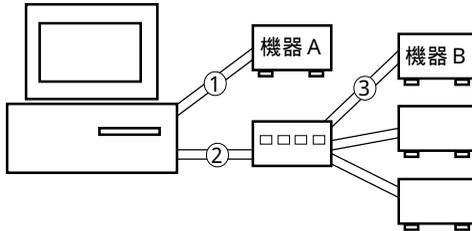
ご注意

デージーチェーン型に増設する場合、ホットプラグ（電源 ON 状態での取り外し）を行う機器は終端に接続してください。中間の機器をホットプラグで取り外すと、他の機器に影響を与える場合があります。

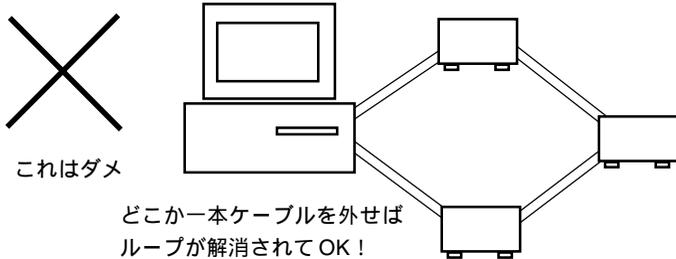
IEEE1394 コネクタを複数装備したインターフェイスボードや、IEEE 1394 ハブを使用すると、接続を分岐させて「ツリー型」に増設することができます。この場合も 1 本のケーブルは最大 4.5m 以下です。接続台数は 62 台以下（パソコン本体を含まない）ですが、Windows 環境ではストレージ機器の台数はドライブ文字の限界（A: ~ Z: でシステムが使用していないもの）に制限されます。



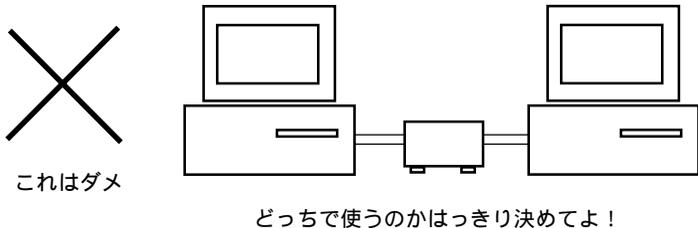
また、ツリー型の場合、IEEE1394 機器間で経由できるケーブルの本数に最大16本という制限があります。例えば下図の「機器A」と「機器B」の間には3本のケーブルが使用されています。このようにカウントしたときに、どの機器の間にも16本を越えるケーブルがあってはならないという制限です。



ツリー型の接続では接続形態が複雑になりがちですが、接続の中にループ（たどっていくと元に戻ってしまうような接続）があってはいけません。



また、接続の中にパソコン本体が2台以上あってはいけません。



USB 編

目次

第 1 章	はじめに	55
1.1	USB 接続の概要	55
1.2	使用環境	56
1.3	接続の前に	57
第 2 章	Windows Me, 98 の場合	58
2.1	接続とインストール (Windows Me)	58
2.2	接続とインストール (Windows 98)	62
2.3	フォーマットについて	66
2.4	メディア取り出しについて	68
2.5	本製品を取り外す場合は	69
第 3 章	Windows XP, 2000 の場合	71
3.1	接続とインストール	71
3.2	接続 / インストール結果の確認	73
3.3	フォーマットについて	75
3.4	メディアの取り出しについて	76
3.5	本製品を取り外す場合は	77
第 4 章	Macintosh の場合	79
4.1	接続とインストール	79
4.1.1	ドライバのインストール	79
4.1.2	本製品の接続	82
4.2	MO メディアのフォーマット手順	83
4.3	補足事項	86
第 5 章	補足事項	87
5.1	トラブルシューティング	87

第1章 はじめに

1.1 USB 接続の概要

本製品を USB インターフェースに接続する場合、以下のような特徴があります。

USB 2.0 ポートにつなぐことによって、従来の USB 1.1 接続より最大で約40倍の480Mbps(理論値)の高速転送を実現することができます。また従来の USB 1.1 ポートにも接続ができるので非常に幅広いパソコンに接続して使用することができます。

USB インターフェースは現在ほとんどのパソコンに標準搭載されています。インターフェースボードやPCカードを使用することなく、ほとんどのパソコンに直接接続することができます。

ホットプラグ(パソコン本体の電源がONになっている状態での着脱)が可能です。必要になったときだけパソコンに接続し、バックアップや大容量データの交換などの用途に最適です。

付属の USB ケーブルは、USB 2.0 に対応しています。USB 2.0 に対応したケーブルは USB 1.1 でもご使用いただけます。



ご注意

- ・本製品をバスパワーで使用することはできません。必ず付属の AC アダプタを接続してください。
- ・本製品はスリープモード、サスペンドモードなどのような省電力モードには対応していません。
- ・本製品に IEEE 1394 ケーブル、USB2.0 ケーブルの両方を接続することは避けてください。(USB 接続時には IEEE 1394 ケーブルを外してください。)
- ・本製品を USB 2.0 ポートに接続する場合、必ず USB2.0 に対応したケーブルをご使用ください。USB 2.0 非対応のケーブルで接続しますと、データのエラーなどトラブルの原因となります。

1 . 2 使用環境

1

本製品を USB 2.0 / 1.1 インターフェースに接続する場合は、以下のよ
うな環境条件を満たしていただくはけません。

対応パソコンについて

本製品を USB 2.0 / 1.1 インターフェースに接続する場合は、以下のパ
ソコン本体に接続可能です。すべて USB ポートを搭載している機種に限
定されます。また、High-Speed での転送を実現するためにはパソコン本
体のインターフェースが USB 2.0 に対応していなければなりません。

各社	DOS/V パソコン
日本電気株式会社	PC98-NX シリーズ
アップルコンピュータ社	
iMac	
eMac	
iBook	
Power Mac G4	
Power Macintosh G3 (Blue & White)	
PowerBook	

対応 OS について

本製品を USB 2.0 / 1.1 インターフェースに接続する場合には、以下の
OS をご使用ください。すべて日本語版 OS のみに限定されます。また、パ
ソコン本体が対応していない OS では使用することができません。

マイクロソフト株式会社
Windows XP Home Edition / Professional
Windows Me
Windows 98 (Second Edition 含む)
Windows 2000 Professional

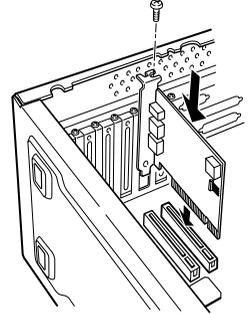
アップルコンピュータ社
Mac OS 8.6 ~ 9.2.2 まで
Mac OS X 10.0.4 以降

1.3 接続の前に

USB 2.0 インターフェイスボードの接続

パソコン本体に USB 2.0 ポートがない場合は別売りの USB 2.0 インターフェイスボード（PCI 用インターフェイスボード、もしくは CardBus 対応 USB 2.0 インターフェイスカード）が必要になります。

この場合、本製品の接続を行う前に USB 2.0 インターフェイスボードのマニュアルにしたがって接続やドライバのインストールを行っておいてください。（本製品を USB 1.1 ポートに接続して使用する場合はこの作業は不要です。その場合の最大転送速度は従来の USB 1.1 と同様 Full-Speed（12Mbps）になります。）



USB 2.0 インターフェイスボードは、以下の型番で弊社から発売されているものをご使用ください。

Windows 環境（DOS/V パソコン、PC98-NX シリーズ）用

PCI バス用 USB 2.0 インターフェイスボード

型番	バス	備考
LHA-USB2N	PCI	インターフェイスボード単体

CardBus 対応 USB 2.0 インターフェイスカード

型番	バス	備考
LPM-CBUSB2	CardBus	インターフェイスカード単体

Power Mac G4 シリーズ、Power Mac G3（Blue&White）シリーズ用

PCI バス用 USB 2.0 インターフェイスボード

型番	バス	備考
LHA-USB2/M	PCI	インターフェイスボード単体

Windows 環境でもご使用になれます。

第2章

Windows® Me , 98 の場合

本章では、Windows Me , 98 環境での本製品の接続とインストールの手順をご説明いたします。接続先のパソコンに USB 2.0 ポートがあるものとして説明を進めますが、ご使用のパソコンに USB 2.0 ポートがない場合には、接続先を USB 1.1 ポートにして本製品の接続とインストールを進めてください。

2

2 . 1 接続とインストール (Windows Me)

本製品を Windows Me 上で使用する場合、本製品を接続する前に以下の手順でドライバをインストールしなければなりません。



ご注意

Windows Me の場合、ドライバをインストールしていない状態で本製品を接続すると、パソコンがハングアップ状態（キーボードやマウスの操作をまったく受け付けない状態）になる危険性があります。必ず最初にドライバのインストールを行ってください。

インストールの手順

本製品を接続していない状態で Windows のシステムを起動してください。起動が完了したら本製品付属の「LogitechWare」CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットしてください。



ポイント

ここで CD-ROM の自動挿入機能が有効になっていると、自動的にセットアップランチャーが起動しますが、この手順ではセットアップランチャーを使用しませんので「終了」と書かれたボタンをクリックして、セットアップランチャーのウィンドウを閉じてください。

タスクバー上の「スタート」ボタンをクリックし、表示されるメニューから「ファイル名を指定して実行」を選択してください。

以下のウィンドウが表示されますので、「名前」のテキストボックスに、「Q:\DRIVERS\LGUSBBLK\WIN98\SETUSBMO.exe」と入力して、OK ボタンをクリックしてください。

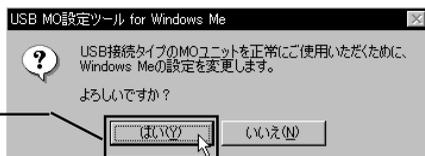


Point ポイント

ここで「Q:」はCD-ROMドライブのドライブ名です。異なる場合は正しいドライブ名を指定してください。

USB MO設定ツール for Windows Me が起動します。

「はい」をクリック



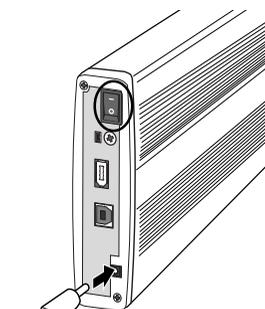
必要なファイルがシステムに転送されます。転送が終了すると右のウィンドウが表示されます。

「OK」をクリック



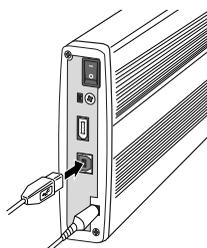
以上でインストールは終了です。CD-ROM をドライブから取り出しておいてください。

続いて本製品の接続を行います。
本製品背面の電源コネクタに付属の AC アダプタのプラグを接続します。AC アダプタは AC100V のコンセントに接続してください。
AC アダプタの接続ができれば、本製品の電源スイッチを ON にします。

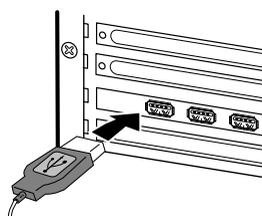


AC100V のコンセントへ

本製品の電源表示ランプが点灯したことを確認して、付属の USB ケーブルで本製品の USB シリーズ B コネクタと、パソコン本体の USB ポートを接続してください。



本製品側
断面が正方形に近いコネクタ



パソコン本体側
断面が平たいコネクタ

⚡ 重要なお注意

本製品を USB 2.0 ポートへ接続する際は、ケーブルは必ず本製品付属のものか、USB 2.0 対応ケーブルを使用してください。USB 1.1 用ケーブルで USB 2.0 ポートに接続して本製品を使用すると、データの書き込みエラーなどの障害が発生します。USB 1.1 ポートへ接続して使用する際は USB 2.0 ケーブル、USB 1.1 ケーブル、どちらでも構いません。

⚠ ご注意

本製品を USB 2.0 で使用される場合、パソコン本体への接続は必ず USB 2.0 拡張ポートへ接続してください。標準搭載されている USB 1.1 ポートでの使用も可能ですが、その場合の最大転送速度は従来と同じ Full-Speed (12Mbps) となります。

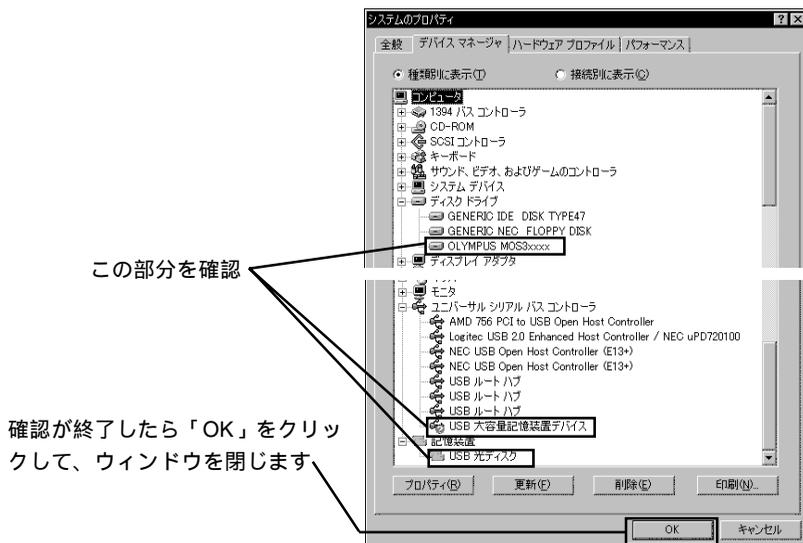
本製品がプラグ&プレイで認識され、ドライバの組み込みが全て自動的に行われます。(ここでユーザーが操作を行う必要はありません。)

作業が完了したら、最後に結果を確認します。「コントロールパネル」から「システム」を起動して、「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。以下の様に3つのデバイスが登録されていたらインストールは正常に終了しています。

「ディスクドライブ」の下に「OLYMPUS MOS3xxxx」があることを確認します。

「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」の下に「USB大容量記憶装置デバイス」があることを確認します。

「記憶装置」の下に「USB光ディスク」があることを確認します。



これらのデバイスが表示されたら、本製品の接続と認識は正常に行われています。次にMOメディアのフォーマットについて説明しますので2.3節へお進みください。



参考

- ・「USB大容量記憶装置デバイス」の表示に「？」マークが付いていますがこれは異常ではありません
- ・ディスクドライブ名の「OLYMPUS MOS3xxxx」の中のxxxxには、本製品内蔵のMOドライブの型番が入ります。

2 . 2 接続とインストール (Windows 98)

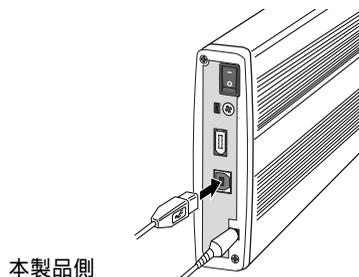
パソコン本体の電源を ON にして、Windows のシステムを起動してください。

本製品背面の電源コネクタに付属の AC アダプタのプラグを接続します。AC アダプタは AC100V のコンセントに接続してください。AC アダプタの接続ができたなら、本製品の電源スイッチを ON にします。

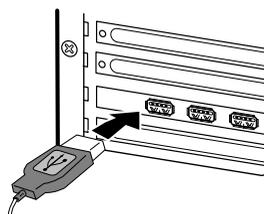


AC100V のコンセントへ

本製品の電源表示ランプが点灯したことを確認して、付属の USB ケーブルで本製品の USB シリーズ B コネクタと、パソコン本体の USB ポートを接続してください。



本製品側
断面が正方形に近いコネクタ



パソコン本体側
断面が平たいコネクタ



重要なお注意

本製品を USB 2.0 ポートへ接続する際は、ケーブルは必ず本製品付属のものが、USB 2.0 対応ケーブルを使用してください。USB 1.1 用ケーブルで USB 2.0 ポートに接続して本製品を使用すると、データの書き込みエラーなどの障害が発生します。USB 1.1 ポートへ接続して使用する際もなるべく USB 2.0 対応ケーブルをご使用ください。



ご注意

本製品を USB 2.0 で使用される場合、パソコン本体への接続は必ず USB 2.0 拡張ポートへ接続してください。標準搭載されている USB 1.1 ポートでの使用も可能ですが、その場合の最大転送速度は従来と同じ Full-Speed (12Mbps) となります。

本製品を接続すると、プラグ & プレイで認識されて、新しいハードウェアの追加ウィザードが起動します。

「次へ」をクリック



右のウィンドウが表示されます。

1. 「使用中のデバイスに・・・」が選択されている状態で

2. 「次へ」をクリック



右下のウィンドウが表示されたら、CD-ROM ドライブに本製品付属の「Logitec Ware」CD-ROM をセットしてください。

1. 「検索場所の指定」だけがチェックされた状態にして

2. ここに以下のように入力して

Q:¥DRIVERS¥LGUSBBLK¥WIN98

3. 「次へ」をクリック



Point

ポイント

ここで「Q:」はCD-ROMドライブのドライブ名です。異なる場合は正しいドライブ名を指定してください。

右のウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック



必要なファイルがシステムに転送され、右のウィンドウが表示されます。

「完了」をクリック

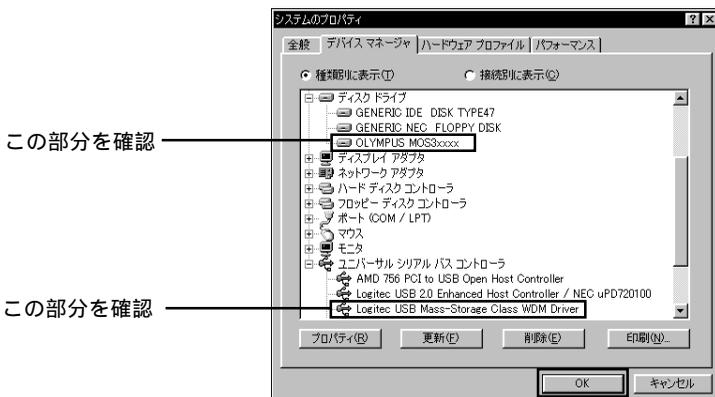


作業が終了したら最後に接続/インストール結果を確認します。「コントロールパネル」から「システム」を起動して、「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。以下の様に2つのデバイスが登録されていたらインストールは正常に終了しています。

「ディスクドライブ」の下に「OLYMPUS MOS3xxxx」があることを確認します。

「ユニバーサル シリアル バスコントローラ」の下に「Logitech USB Mass-Storage Class WDM Driver」があることを確認します。

2



確認が終了したら「OK」をクリックして、ウィンドウを閉じます

これらのデバイスが表示されたら、本製品の接続と認識は正常に行われています。次にMOメディアのフォーマットについて説明しますので次節へお進みください。



参考

ディスクドライブ名の「OLYMPUS MOS3xxxx」の中のxxxxには、本製品内蔵のMOドライブの型番が入ります。

2.3 フォーマットについて

Windows Me, 98の場合、MOメディアのフォーマットは付属のユーティリティ「ディスクフォーマッタ」で行います。

本製品付属の「LogitecWare」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットすると自動起動する「セットアップランチャー」から、「ディスクユーティリティ」をインストールしてください。(下図参照)

1. 「ディスクユーティリティ」のアイコンを1回クリックして、選択状態にします。



2. 「セットアップの起動」をクリックします。

Point

ポイント

ディスクユーティリティには「ディスクフォーマッタ」以外にも、「ディスクイジェクトツール」と「MO補助ドライバ」が含まれています。これらのユーティリティは本製品を使用する上で必要ですので、必ずインストールしてください。



インストールが終了したら、ディスクフォーマットはタスクバー上の「スタート」ボタンをクリックして、「プログラム」「Logitech」とポイントし、「ディスクフォーマット」をクリックすることで起動できます。



2

また、インストール時、デスクトップ上にショートカットアイコンを作成した場合は、デスクトップ上の右のアイコンをダブルクリックしても起動することができます。



ディスクフォーマットが起動したら、MOメディアのフォーマットを行います。フォーマットの手順については、ディスクフォーマットのヘルプメニューから「トピックの検索」を選択し、表示されるヘルプウィンドウで「操作方法」「MOメディアのフォーマット」をご参照ください。

2 . 4 メディア取り出しについて

Windows Me , 98 上で MO メディアを取り出したい場合は、ディスクユーティリティインストール時にインストールされたイジェクトツールを使用します。タスクバーの右図のアイコンをクリックして、表示されるメニューから本製品のドライブ名を選択してください。



このアイコンをクリックします。

この操作を行うと、MOメディアが1cmほど排出されますので、静かに引き出してください。



ご注意

本製品前面のイジェクトボタンはWindowsのシステムが起動していないときに使用します。Windows稼働中は使用しないでください。

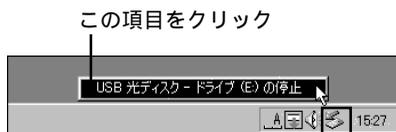
2.5 本製品を取り外す場合は

本製品はインターフェースとしてUSBを採用しているため、ホットプラグオフ（パソコン本体の電源がONの状態での取り外し）が可能です。しかし、これは「いつでも取り外して良い」という意味ではありません。本製品を取り外す場合は、必ず以下の手順に従ってください。

本製品にMOメディアがセットされている場合は、これを取り出してください。

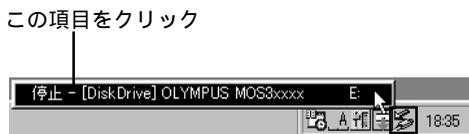
本製品を接続した状態では、タスクバーのシステムトレイに以下のようなアイコンが表示されます。このアイコンをクリックして、表示されるメニューから、

Windows Me では、「USB 光ディスク - ドライブ (E:) の停止」をクリックしてください。



このアイコンをクリック

Windows 98 では、「停止 - [DiskDrive] OLYMPUS MOS3xxxx E:」をクリックしてください。



このアイコンをクリック

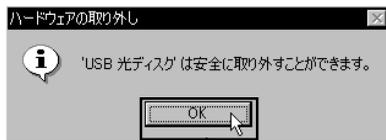
Point

ポイント

- ・ここで「E:」は本製品のドライブ名ですので環境によって異なります。
- ・Windows 98 で表示される「停止 - [DiskDrive] OLYMPUS MOS3xxxx E:」の中のxxxxには、本製品内蔵のMOドライブの型番が入ります。

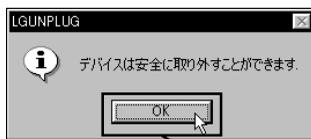
2.5 本製品を取り外す場合は

Windows Me では「USB 光ディスクは安全に取り外すことができます。」と表示されますので「OK」をクリックしてください。



「OK」ボタンをクリック

Windows 98 では「デバイスは安全に取り外すことができます。」と表示されますので「OK」をクリックしてください。



「OK」ボタンをクリック

USB ケーブルを外し、本製品の電源を OFF にして AC アダプタを外してください。

第3章

Windows® XP, 2000 の場合

3.1 接続とインストール

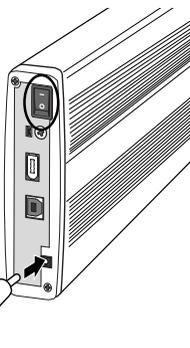
ここでは本製品を接続して、ドライバをインストールするまでの手順を説明します。以下の手順は Windows XP, 2000 のシステムが起動した状態でを行います。接続先のパソコンに USB 2.0 ポートがあるものとして説明を進めますが、ご使用のパソコンに USB 2.0 ポートがない場合には、接続先を USB 1.1 ポートにして本製品の接続とインストールを進めてください。

Point

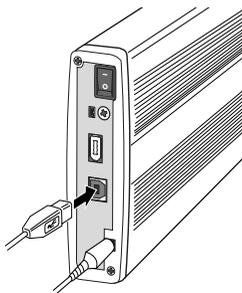
パソコン本体の電源を ON にして、Windows のシステムを起動し、管理者権限を持つユーザー（例えばコンピュータの管理者や Administrators グループ）としてログインしてください。

本製品背面の電源コネクタに付属の AC アダプタのプラグを接続します。AC アダプタは AC100V のコンセントに接続してください。AC アダプタの接続ができれば、本製品の電源スイッチを ON にします。

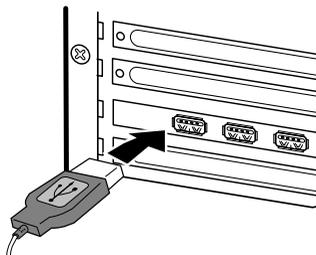
AC100V のコンセントへ



本製品の電源表示ランプが点灯したことを確認して、付属の USB ケーブルで本製品の USB シリーズ B コネクタと、パソコン本体の USB ポートを接続してください。



本製品側
断面が正方形に近いコネクタ



パソコン本体側
断面が平たいコネクタ



重要なお注意

- ・本製品を USB 2.0 ポートへ接続する際は、ケーブルは必ず本製品付属のものか、USB 2.0 対応ケーブルを使用してください。USB 1.1 用ケーブルで接続して使用すると、データの書き込みエラーなどの障害が発生します。
 - ・USB 1.1 ポートへ接続して使用する際もなるべく USB 2.0 対応ケーブルをご使用ください。
 - ・本製品を USB 2.0 で使用される場合、パソコン本体への接続は必ず USB 2.0 拡張ポートへ接続してください。標準搭載されている USB 1.1 ポートでの使用も可能ですが、その場合の最大転送速度は従来と同じ Full-Speed (12Mbps) となります。
-

本製品がプラグ & プレイで認識され、ドライバの組み込みが全て自動的に行われます。(ここでユーザーが操作を行う必要はありません。)

以上で本製品の接続とインストールは終了です。次に接続結果の確認をしますので次節へお進みください。

3.2 接続 / インストール結果の確認

接続 / インストール作業が終了したら以下の手順で結果の確認を行います。

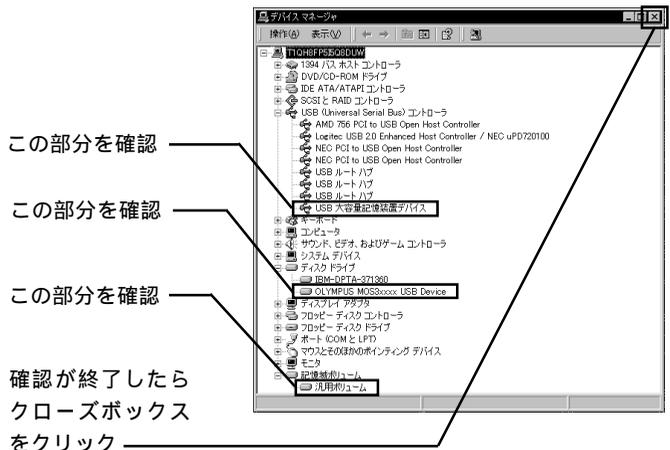
Windows 2000 の場合

「コントロールパネル」 「システム」を起動して、「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」ボタンをクリックしてください。

「USB (Universal Serial Bus)コントローラ」をダブルクリックして開き、「USB 大容量記憶装置デバイス」が表示されることを確認します。

「ディスクドライブ」をダブルクリックして開き「OLYMPUS MOS3xxxx USB Device」が表示されることを確認します。

「記憶域ボリューム」をダブルクリックして開き「汎用ボリューム」が表示されることを確認します。



このデバイスが表示されたら、本製品の接続と認識は正常に行われています。次にMOメディアのフォーマットについて説明しますので3.3節へお進みください。



参考

ディスクドライブ名の「OLYMPUS MOS3xxxx」の中のxxxxには、本製品内蔵のMOドライブの型番が入ります。

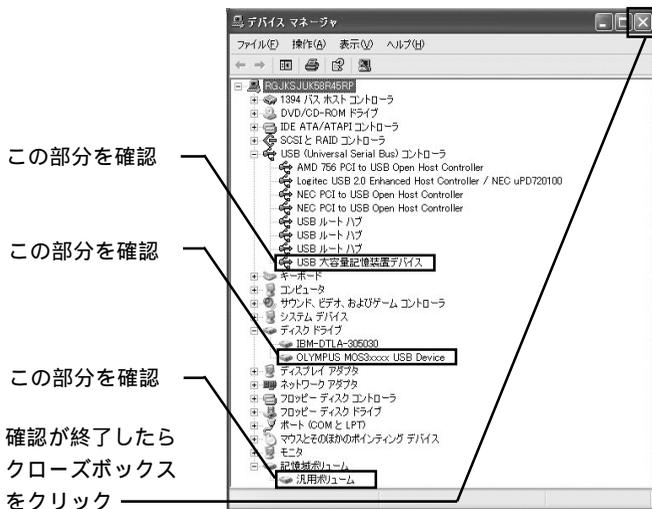
Windows XP の場合

「コントロールパネル」から「プリンタとその他のハードウェア」をクリックし、「関連項目」から「システム」を選び、システムウィンドウから「ハードウェア」タブをクリックし、表示される「デバイスマネージャ」ボタンをクリックしてください。下のように接続されている機器の一覧が表示されたら、以下のデバイスが表示されることを確認してください。

「USB (Universal Serial Bus)コントローラ」をダブルクリックして開き、「USB 大容量記憶装置デバイス」が表示されることを確認します。

「ディスクドライブ」をダブルクリックして開き「OLYMPUS MOS3xxxx USB Device」が表示されることを確認します。

「記憶域ボリューム」をダブルクリックして開き「汎用ボリューム」が表示されることを確認します。



このデバイスが表示されたら、本製品の接続と認識は正常に行われています。次に MO メディアのフォーマットについて説明しますので 3 . 3 節へお進みください。

参考



ディスクドライブ名の「OLYMPUS MOS3xxxx」の中のxxxxには、本製品内蔵のMOドライブの型番が入ります。

3.3 フォーマットについて

Windows XP、2000の場合、MOメディアのフォーマットは付属のユーティリティ「MOメディアフォーマッタ」で行います。

本製品付属の「LogitecWare」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットすると自動起動する「セットアップランチャー」から、「ディスクユーティリティ」をインストールしてください。(下図参照)

1. 「ディスクユーティリティ」のアイコンを1回クリックして、選択状態にします。



2. 「セットアップの起動」をクリックします。

インストールが終了したら、ディスクフォーマッタはタスクバー上の「スタート」ボタンをクリックして、「プログラム」「Logitec」とポイントし、「MOメディアフォーマッタ」をクリックすると起動できます。

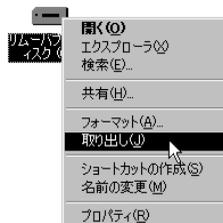


MOメディアフォーマッタの使用方法(MOメディアのフォーマット手順)については、「Logitec Ware」CD-ROMに収録されたオンラインマニュアルをご参照ください。

3.4 メディアの取り出しについて

Windows XP, 2000 上で MO メディアを取り出したい場合は、「マイコンピュータ」に登録された本製品のアイコン(リムーバブルディスク)を右クリックして、表示されるメニューから「取り出し」を選択してください。

この操作を行うと、MO メディアが 1cm ほど排出されますので、静かに引き出してください。



3



ご注意

- ・本製品前面のイジェクトボタンはWindows が起動していないときに使用します。Windows 稼動中は使用しないでください。
 - ・Windows XP, 2000 で MO メディアを取り出すには、管理者権限を持つユーザー（例えばコンピュータの管理者や Administrators グループ）のメンバーとしてログオンする必要があります。
-

3.5 本製品を取り外す場合は

本製品はインターフェースとしてUSBを採用しているため、ホットプラグオフ（パソコン本体の電源がONの状態での取り外し）が可能です。しかし、これは「いつでも取り外して良い」という意味ではありません。本製品を取り外す場合は、必ず以下の手順に従ってください。

本製品にMOメディアがセットされている場合は、これを取り出してください。

本製品を接続した状態では、タスクバーのシステムトレイに以下のようなアイコンが表示されます。このアイコンをクリックして、表示されるメニューから、

Windows XPでは「USB大容量記憶装置デバイス - ドライブ (E:) を安全に取り外します」をクリックしてください。

この項目をクリック



このアイコンをクリック

Windows 2000では「USB大容量記憶装置デバイス - ドライブ (E:) を停止します」をクリックしてください。

この項目をクリック



このアイコンをクリック

Point

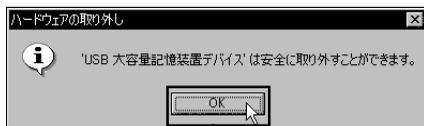
ポイント

ここで「E:」は本製品のドライブ名ですので環境によって異なります。

3.5 本製品を取り外す場合は

Windows XP では、「USB 大容量記憶装置デバイス」は安全に取り外すことができます。」というメッセージがでましたら取り外し可能となります。

Windows 2000 では、「USB 大容量記憶装置デバイス」は安全に取り外すことができます。」と表示されたら、OK ボタンをクリックしてください。



OK ボタンをクリック

USB ケーブルを外し、本製品の電源を OFF にして、AC アダプタを外してください。

第4章

Macintosh®の場合

本書作成時点でMacintoshシリーズではUSB 2.0はサポートされていません。USB 1.1の Full-Speed (12Mbps) までの対応となります。

4 . 1 接続とインストール

本節では本製品付属のドライバをインストールして、本製品を接続するまでの手順を説明します。

Point ポイント

Mac OS X 10.0.4以降をご使用の場合、本製品を使用するためのドライバが標準で添付されているので、ドライバのインストール作業は必要ありません。「4 . 1 . 2 項 本製品の接続」へお進みください。

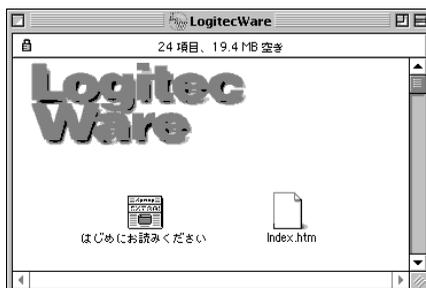
4 . 1 . 1 ドライバのインストール

(Mac OS 9.2.2 以前)

本製品を接続していない状態で、Macintosh のシステムを起動してください。

「Logitec Ware」CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットしてください。

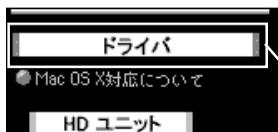
CD-ROM のウィンドウが開きますので、「Index.htm」と書かれたアイコンをダブルクリックして開いてください。



4.1 接続とインストール

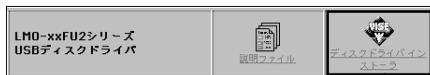
右のようなウィンドウがブラウザで表示されます。

ここで左のメニューから「ドライバ」をクリックしてください。



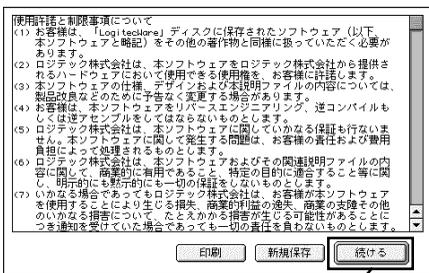
この項目をクリック

メニューの右側に、収録されたドライバの一覧が表示されます。これをスクロールして「LMO-xxFU2シリーズ USB ディスクドライバ」を探し、「ディスクドライバインストーラ」と書かれた部分をクリックしてください。



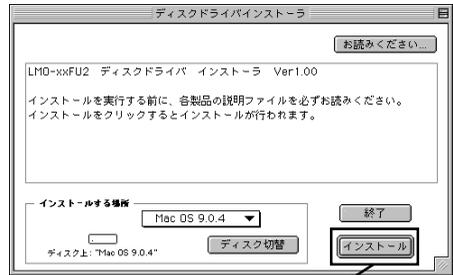
この部分をクリック

インストーラが起動して、仕様許諾等が表示されます。



内容を確認して同意する場合は「続ける」をクリック

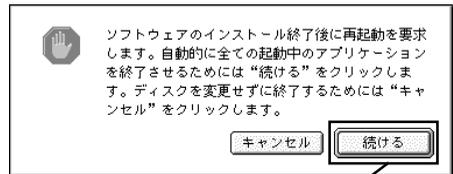
ドライバをインストールするフォルダを選択するウィンドウが表示されます。



特に支障がない場合は、そのまま「インストール」をクリック

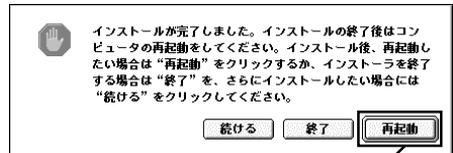
インストールの最後にシステムが再起動されるため、確認メッセージが表示されます。

他のプログラムなどが起動していないことを確認したら、「続ける」をクリック



必要なファイルが転送されます。終了すると右のウィンドウが表示されます。

「再起動」をクリック

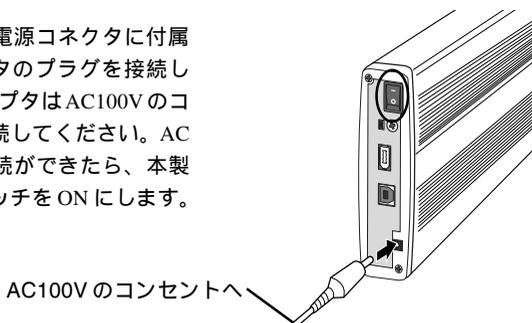


システムが再起動されます。再起動が完了したら、インストール作業は終了です。CD-ROMをドライブから取り出しておいてください。次に本製品の接続を行います。

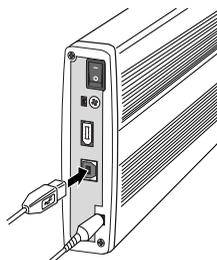
4.1.2 本製品の接続

パソコン本体の電源を ON にしてシステムを起動させてください。

本製品背面の電源コネクタに付属の AC アダプタのプラグを接続します。AC アダプタは AC100V のコンセントに接続してください。AC アダプタの接続ができれば、本製品の電源スイッチを ON にします。



付属の USB ケーブルで本製品の USB シリーズ B コネクタと、パソコン本体の USB ポートを接続してください。



本製品側
断面が正方形に近いコネクタ



パソコン本体側
断面が平たいコネクタ

以上で接続とインストールは終了です。これで本製品を使用できる状態になりました。本製品にフォーマットされた MO メディアをセットすると、デスクトップ上にアイコンが表示されます。このアイコンをダブルクリックするとメディアにアクセスすることができます。

(MO メディアのフォーマットについては、4.2 節をご参照ください。)



参考

Mac OS X では本製品を接続すると自動的に認識され使用できる状態になります。

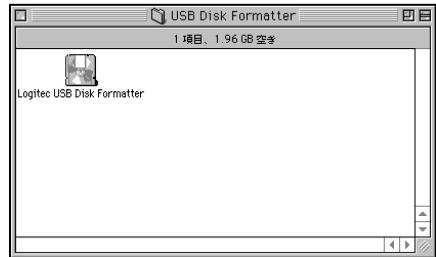
4.2 MOメディアのフォーマット手順



ご注意

Mac OS X 10.0.4 以降の OS では、ここで説明するフォーマッタソフト「Logitech USB Disk Formatter」は動作しません。OS 標準の Disk Utility をご使用ください。

本製品を接続した状態で、ドライバのインストール時に作成された「USB Disk Formatter」フォルダを開き、「Logitech USB Disk Formatter」アイコンをダブルクリックしてください。



フォーマッタが起動して、右のウィンドウが開きます。ここで本製品にフォーマットしたいMOメディアをセットしてください。



セットされたMOメディアに関する情報が表示されます。

フォーマットされていないMOメディアをセットした場合は、「フォーマット」の欄に「不明」と表示されます。



内容を確認したら、「ディスクの初期化」ボタンをクリックしてください。



参考

- ・「マウント」ボタンは、何かの原因でマウントされなかったMOメディアを強制的にマウントするものですが、フォーマット時には使用しません。
- ・「取り出し」ボタンは、本製品にセットされたMOメディアを取り出すためのものです。間違ったMOメディアをセットした場合などに使用してください。

右のウィンドウが表示されます。必要に応じて設定等を行ってください。

MOメディアに名前をつけたい場合は、ここに入力します。

フォーマット形式を選択したい場合はこのプルダウンメニューを開きます。(下の「ポイント」参照)



設定が終了したら、「初期化」ボタンをクリックしてください。



ポイント

「フォーマット」形式には、「Mac OS 標準」と「Mac OS 拡張」があります。データ交換などを目的とする場合は「Mac OS 標準」を、それ以外の場合は「Mac OS 拡張」をお勧めします。

Mac OS 標準

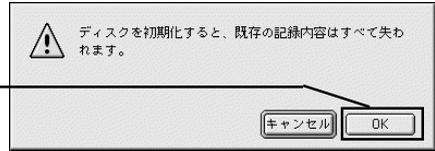
従来のMacintoshシリーズでサポートされていた形式です。汎用性がありますが、1.3GBなどの大容量のMOメディアで選択すると、保管効率が悪くなります。

Mac OS 拡張

Mac OS 8.1からサポートされた形式です。大容量のMOメディアを効率よく使用することができます。ただし、この形式でフォーマットすると、Mac OS 8.0以前のシステムではアクセスできなくなります。

確認のメッセージが表示されます。

フォーマットしてもいいことを確認したら、OKボタンをクリックしてください。



フォーマットが実行されます。通常の場合、フォーマットは数秒で終了し、下のウィンドウに戻ります。

フォーマット形式が選択したものになっていることを確認してください。

確認が終了したら、「取り出し」ボタンをクリックして、MOメディアを取り出してください。



以上でMOメディアのフォーマットは終了です。メニューバーの「ファイル」メニューから「終了」を選択して、フォーマッタを終了してください。



参考

一度上記の手順でフォーマットを行ったMOメディアを再フォーマットする場合は、「特別」メニューの「ディスクの初期化」を使用することも可能です。

4 . 3 補足事項

メディアの取り出しについて

Mac OS 上でMOメディアを取り出したい場合は、デスクトップ上にマウントされたMOメディアのアイコンをゴミ箱のアイコンに重ねてください。

この操作を行うと、MOメディアが1cmほど排出されますので、静かに引き出してください。



ご注意

本製品前面のイジェクトボタンはMac OS が起動していないときに使用します。Mac OS 移動中は使用しないでください。

本製品を取り外す場合は

本製品はインターフェースとしてUSBを採用しているため、ホットプラグオフ（パソコン本体の電源がONの状態での取り外し）が可能です。しかし、これは「いつでも取り外して良い」という意味ではありません。取り外し時には以下のような点にご注意ください。

本製品にMOメディアがセットされているときは、取り外しは行わないでください。本製品を取り外す前にMOメディアを取り出してください。

パソコン本体がスリープ状態になっているときは、取り外しを行わないでください。

本製品を取り外す場合は、USBケーブルのパソコン本体側のコネクタを先に外してください。

第5章 補足事項

5.1 トラブルシューティング

本製品を接続したが認識されない。

ドライバは正しい手順でインストールされていますか？
ケーブルの接続に接触不良などがないかどうか確認してください。
本製品を USB ハブ経由で接続している場合は、パソコンの USB
ポートに直接接続して試してみてください。

MOメディアのアクセス時にエラーが発生する。

MOメディアは汚れていませんか？ ディスク・クリーニングを
行ってください。
MOメディアの不良も考えられます。別のディスクで試してくだ
さい。これで問題がなければ、エラーが発生するMOメディアのデー
タをバックアップして、再フォーマットを行ってください。

特定のMOメディアをアクセスできない。

そのMOメディアはフォーマットされていますか？ 一般にMOメ
ディアは物理フォーマット済みで発売されていますが、物理フォー
マットのみではアクセスはできません。本書記載の方法でフォー
マット（論理フォーマット）を行ってください。
MOメディアではスーパーフロッピーフォーマットの形式が一般的
ですが、ハードディスク形式やアップルコンピュータ社の
Macintosh シリーズ用にフォーマットされたディスクもあります。
異なるシステムとデータ交換を行う場合には、スーパーフロッピー
フォーマットのMOメディアを使用してください。（Macintosh シ
リーズでスーパーフロッピーフォーマットのMOメディアを使用す
るには、MacOS標準のユーティリティ「PC Exchange」が必要です。）
そのMOメディアが本製品で使用できる容量のものかどうかを確認
してください。使用可能なMOメディアについては、「1.1 製
品の特徴」の「機種と使用可能なMOメディア」をご参照くだ
さい。

MOメディアに書き込みができない。

MOメディアのライトプロテクト・ノッチがプロテクト側に設定されていませんか？

特定のソフトウェア（ディスク修復ツールなど）で
MOメディアを使用できない。

一部のユーティリティソフトウェアでは、動作対象がハードディスクのみになっている場合があります。ソフトウェアメーカーに問い合わせ、そのソフトウェアがMOメディアを動作対象としているかどうかを確認してください。

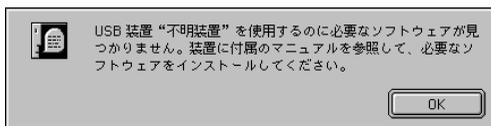
一部のソフトウェアでは、動作中のディスク交換の問題などからインストール対象をハードディスクに限定している場合があります。ソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

スリープ状態から復帰できない。

パソコンのスリープ（サスペンド）状態の処理方法により、このような現象が発生する場合があります。ご使用のパソコンによっては、パソコン本体メーカから供給されるアップデートプログラム等によりこの現象を回避できる場合もあります。

アップデートプログラム等が用意されていない場合は、スリープ（サスペンド）機能をOFFにしてご使用ください。

Macintoshシリーズで本製品を接続すると、
以下のようなエラーメッセージが表示される。



本製品のドライバがインストールされていません。第4章にしたがって、ドライバのインストールを行ってから、本製品を接続してください。

データの転送速度が遅い。

USB 2.0 のポートに正しく接続されていますか。

USB 1.1 のポートに接続されている場合、データの転送速度は Full-Speed (12Mbps) までとなります。High-Speed (480Mbps) でデータ転送を行うには USB 2.0 ポートにつなぎかえてください。

パソコン本体に USB 2.0 ポートがない場合は別売りの USB 2.0 インターフェイスボード (PCI 用インターフェイスボード、もしくは CardBus 対応 USB 2.0 インターフェイスカード) を接続してドライバのインストールを行ってから、接続しなおしてみてください。

Macintosh 環境で本製品のドライバをアンインストールしたい。

(Mac OS 8.6 ~ 9.2.2 まで)

システムフォルダの機能拡張フォルダにコピーされた以下のファイルを削除してください。

Logitech USB-51 Driver

Logitech USB-51 Shim

または、

Logitech USB-91 Driver

Logitech USB-91 Shim

その他：弊社ホームページについて

弊社ではインターネット上にホームページを開設しています。ホームページにはソフトウェアのダウンロードコーナーや、各種製品に関する Q&A コーナーがあります。また、「サポート情報」では「お問い合わせ用紙」や「修理依頼書」などが、PDF 形式でダウンロード可能になっていますのでご活用ください。

ホームページアドレス：<http://www.logitech.co.jp/>



<http://www.logitech.co.jp/>